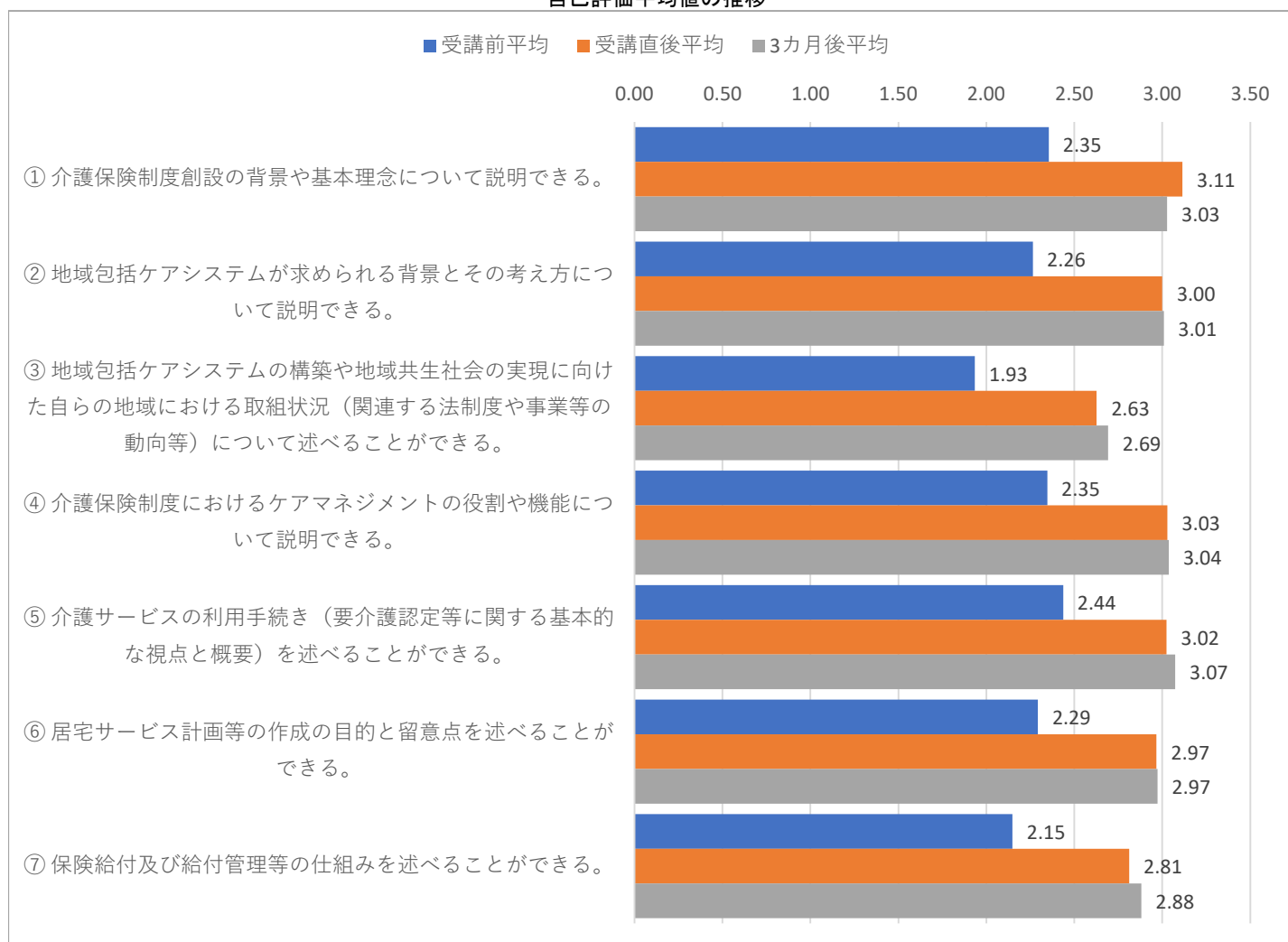


①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

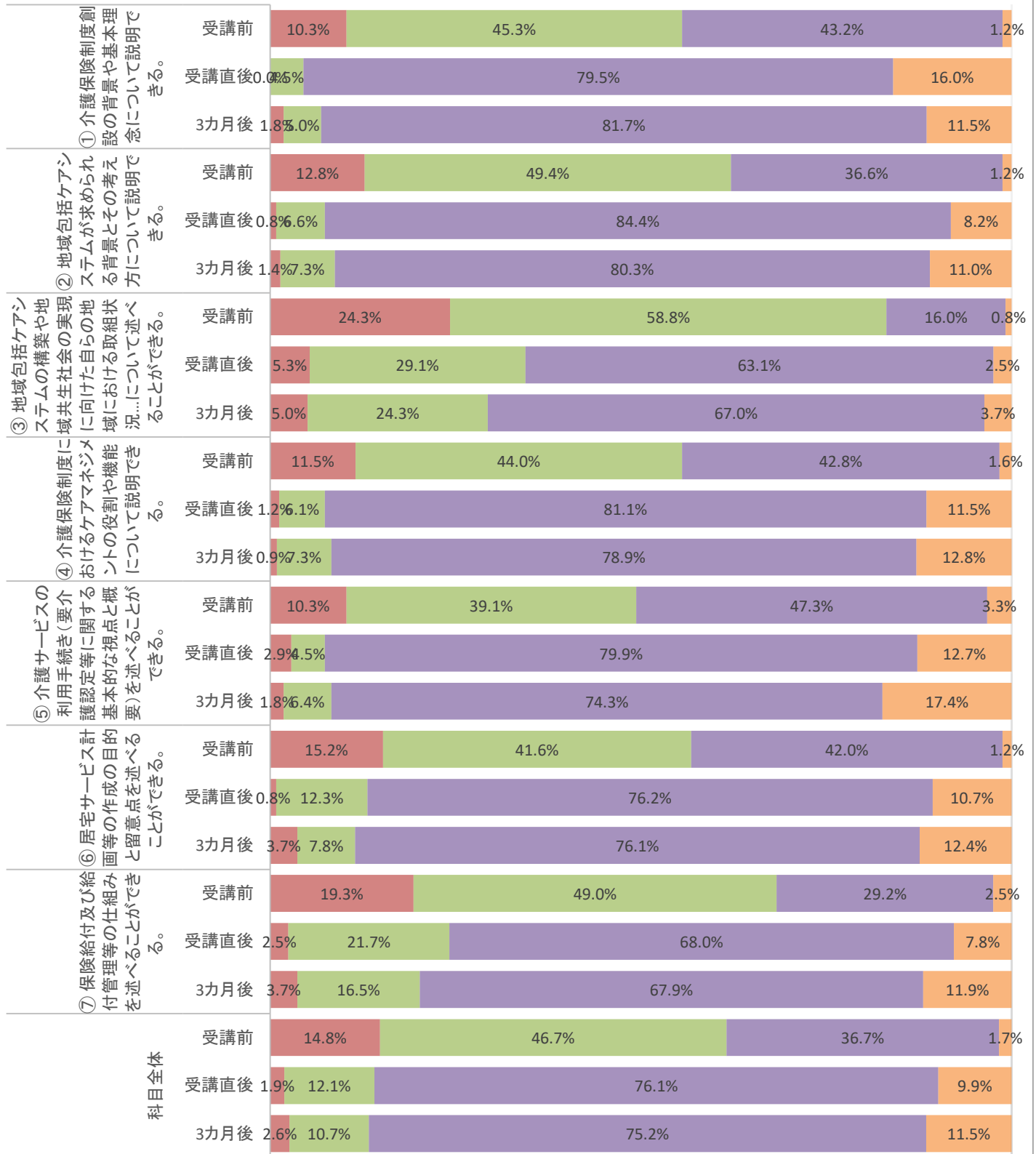
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 介護保険制度創設の背景や基本理念について説明できる。	2.35	3.11	3.03	0.67	0.76	-0.09
② 地域包括ケアシステムが求められる背景とその考え方について説明できる。	2.26	3.00	3.01	0.75	0.74	0.01
③ 地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた自らの地域における取組状況（関連する法制度や事業等の動向等）について述べる事ができる。	1.93	2.63	2.69	0.76	0.69	0.07
④ 介護保険制度におけるケアマネジメントの役割や機能について説明できる。	2.35	3.03	3.04	0.69	0.68	0.01
⑤ 介護サービスの利用手続き（要介護認定等に関する基本的な視点と概要）を述べる事ができる。	2.44	3.02	3.07	0.64	0.59	0.05
⑥ 居宅サービス計画等の作成の目的と留意点を述べる事ができる。	2.29	2.97	2.97	0.68	0.68	0.01
⑦ 保険給付及び給付管理等の仕組みを述べる事ができる。	2.15	2.81	2.88	0.73	0.66	0.07

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

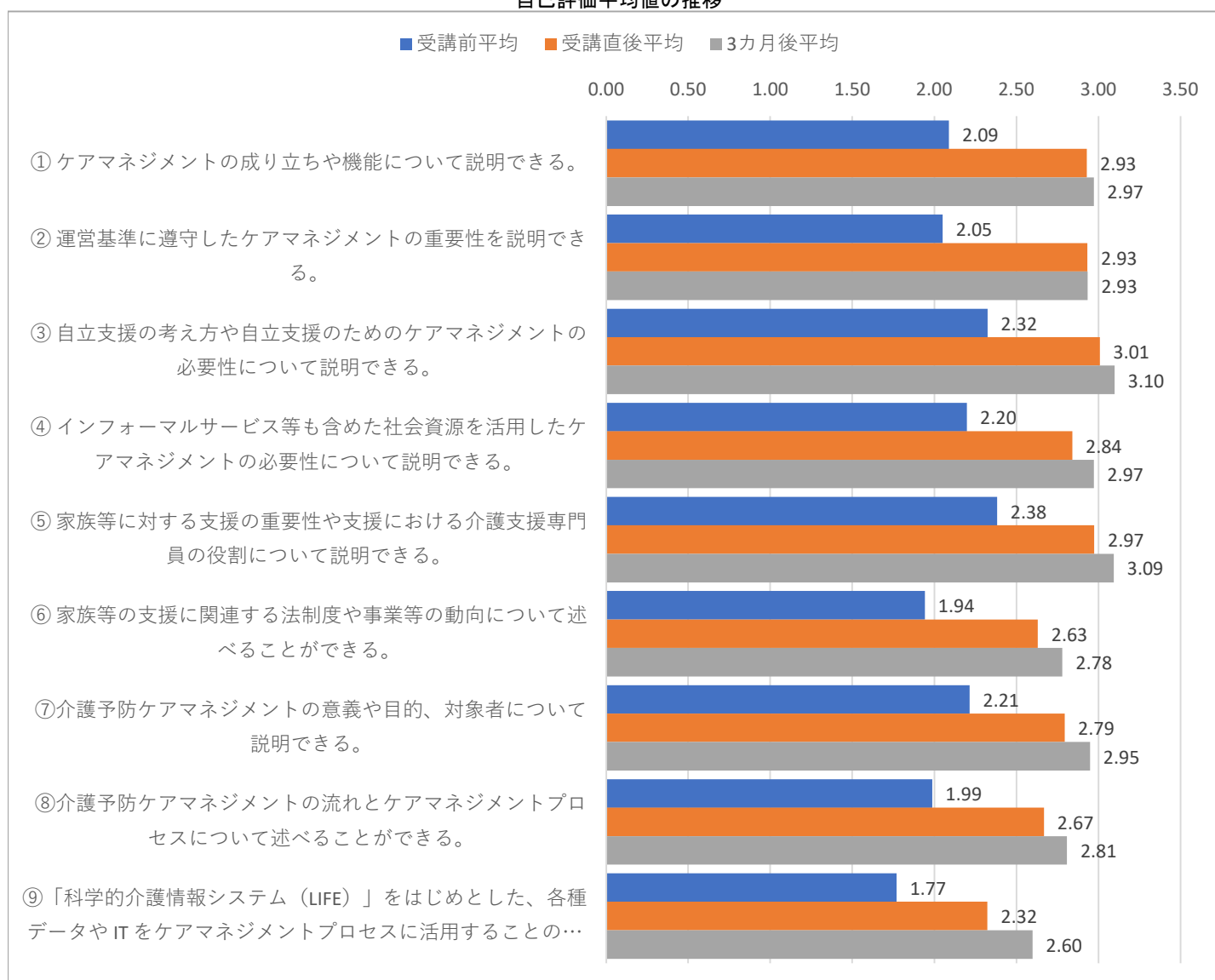
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



②自立支援のためのケアマネジメントの基本

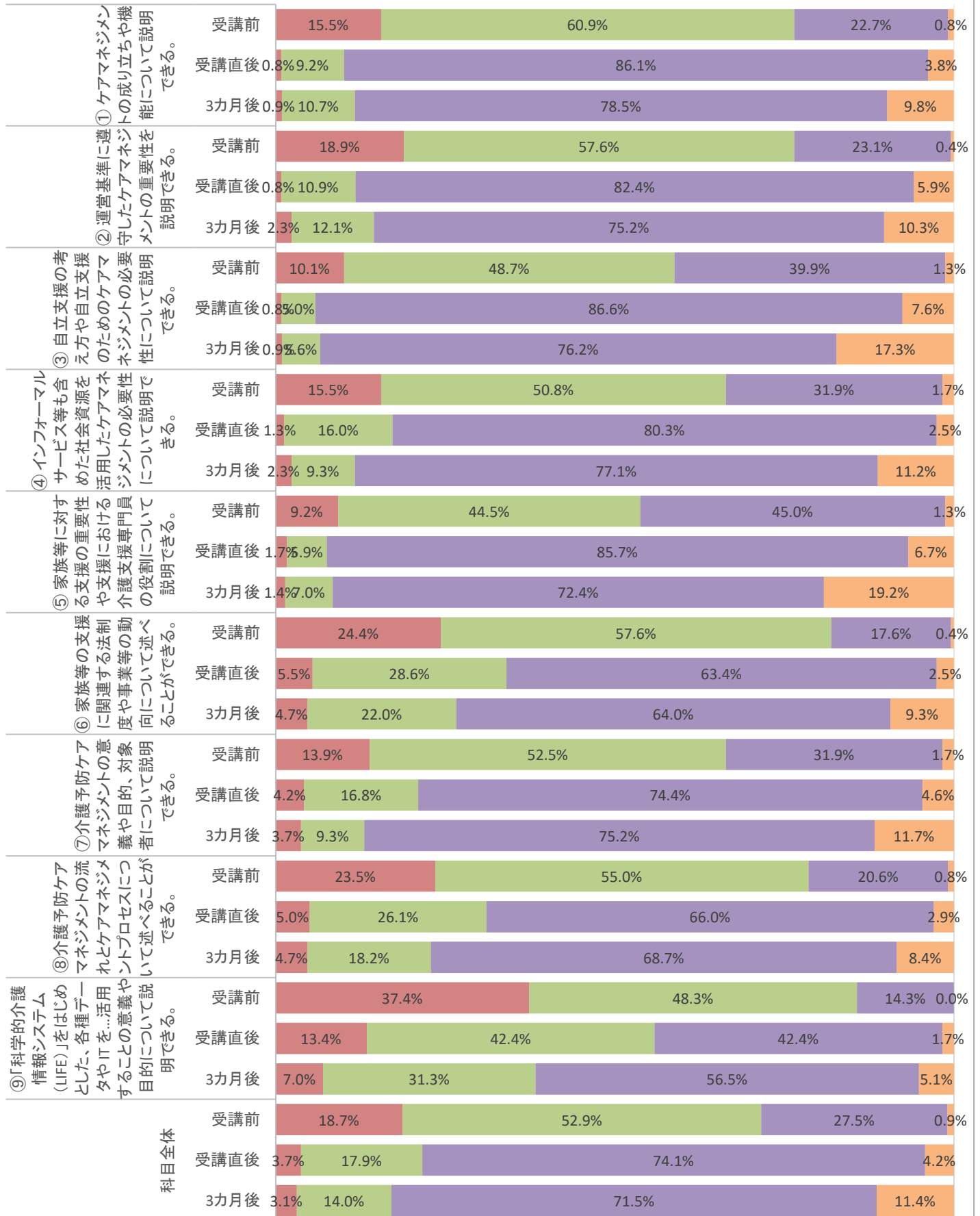
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① ケアマネジメントの成り立ちや機能について説明できる。	2.09	2.93	2.97	0.88	0.84	0.04
② 運営基準に遵守したケアマネジメントの重要性を説明できる。	2.05	2.93	2.93	0.88	0.88	0.00
③ 自立支援の考え方や自立支援のためのケアマネジメントの必要性について説明できる。	2.32	3.01	3.10	0.77	0.68	0.09
④ インフォーマルサービス等も含めた社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。	2.20	2.84	2.97	0.77	0.64	0.13
⑤ 家族等に対する支援の重要性や支援における介護支援専門員の役割について説明できる。	2.38	2.97	3.09	0.71	0.59	0.12
⑥ 家族等の支援に関連する法制度や事業等の動向について述べるができる。	1.94	2.63	2.78	0.84	0.69	0.15
⑦介護予防ケアマネジメントの意義や目的、対象者について説明できる。	2.21	2.79	2.95	0.73	0.58	0.15
⑧介護予防ケアマネジメントの流れとケアマネジメントプロセスについて述べるができる。	1.99	2.67	2.81	0.82	0.68	0.14
⑨「科学的介護情報システム（LIFE）」をはじめとした、各種データや IT をケアマネジメントプロセスに活用することの意義や目的について説明できる。	1.77	2.32	2.60	0.83	0.55	0.27

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

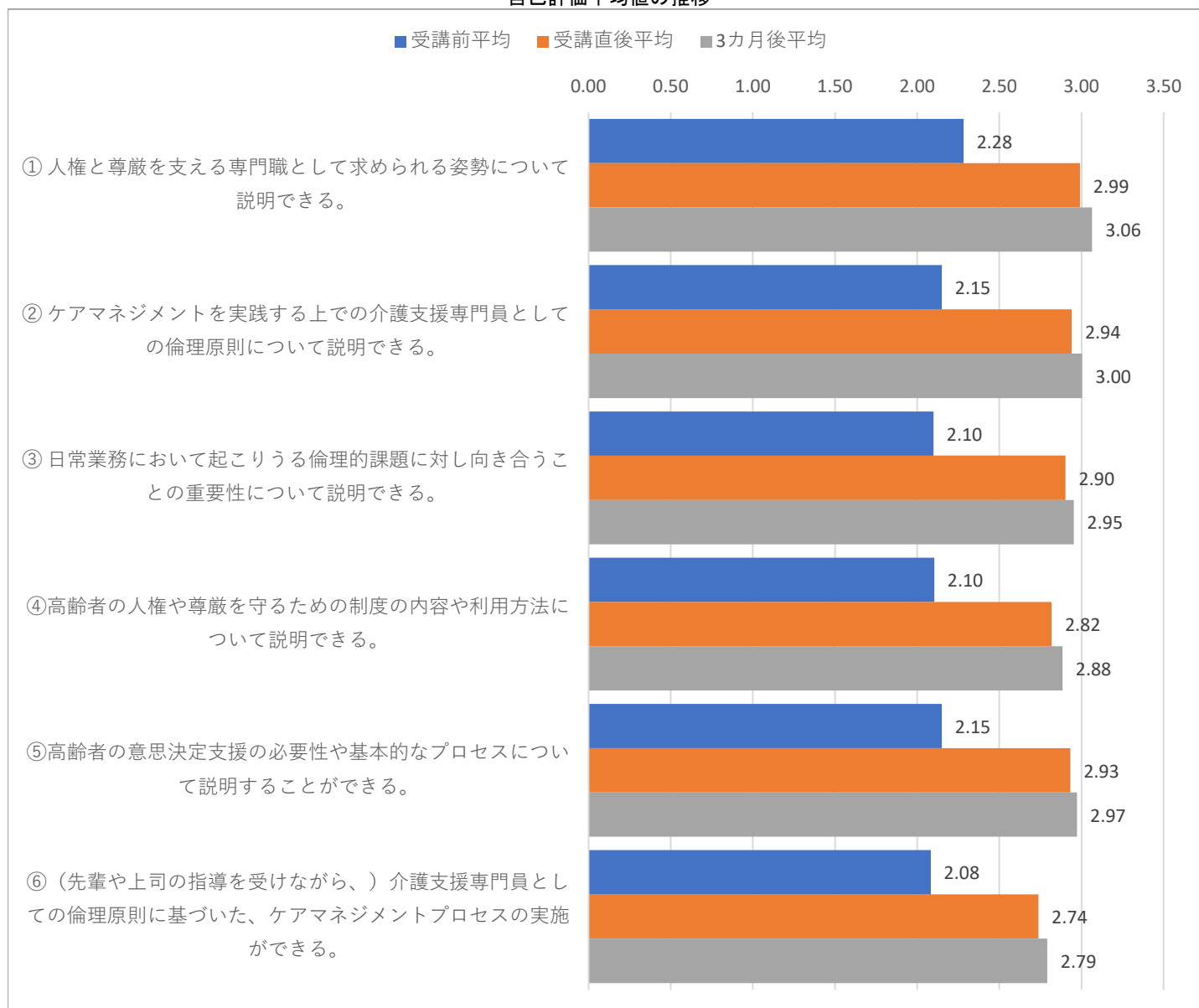
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



③人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理

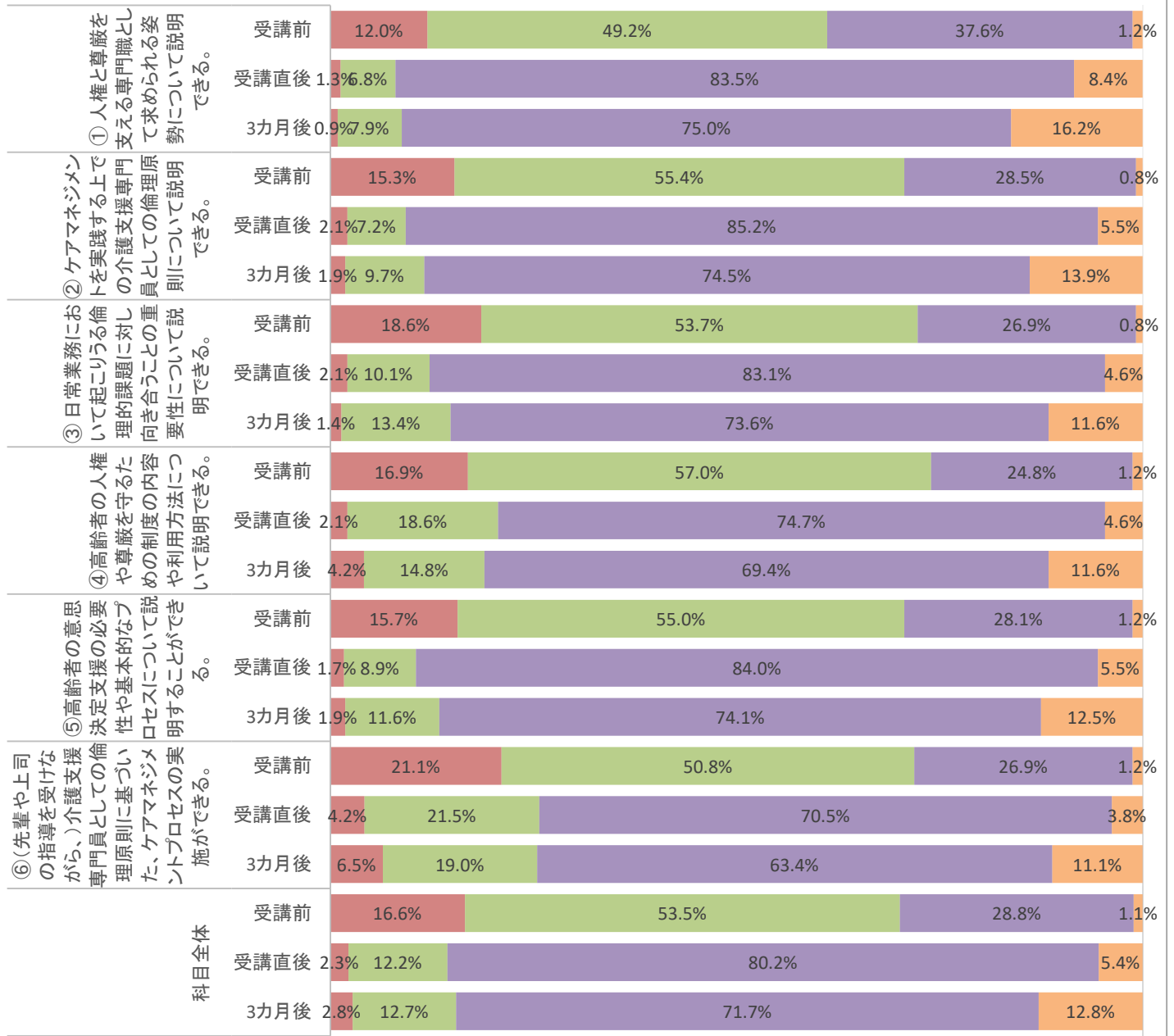
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。	2.28	2.99	3.06	0.78	0.71	0.07
② ケアマネジメントを実践する上での介護支援専門員としての倫理原則について説明できる。	2.15	2.94	3.00	0.86	0.79	0.06
③ 日常業務において起こりうる倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。	2.10	2.90	2.95	0.85	0.80	0.05
④ 高齢者の人権や尊厳を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。	2.10	2.82	2.88	0.78	0.72	0.07
⑤ 高齢者の意思決定支援の必要性や基本的なプロセスについて説明することができる。	2.15	2.93	2.97	0.82	0.78	0.04
⑥ (先輩や上司の指導を受けながら、) 介護支援専門員としての倫理原則に基づいた、ケアマネジメントプロセスの実施ができる。	2.08	2.74	2.79	0.71	0.66	0.05

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

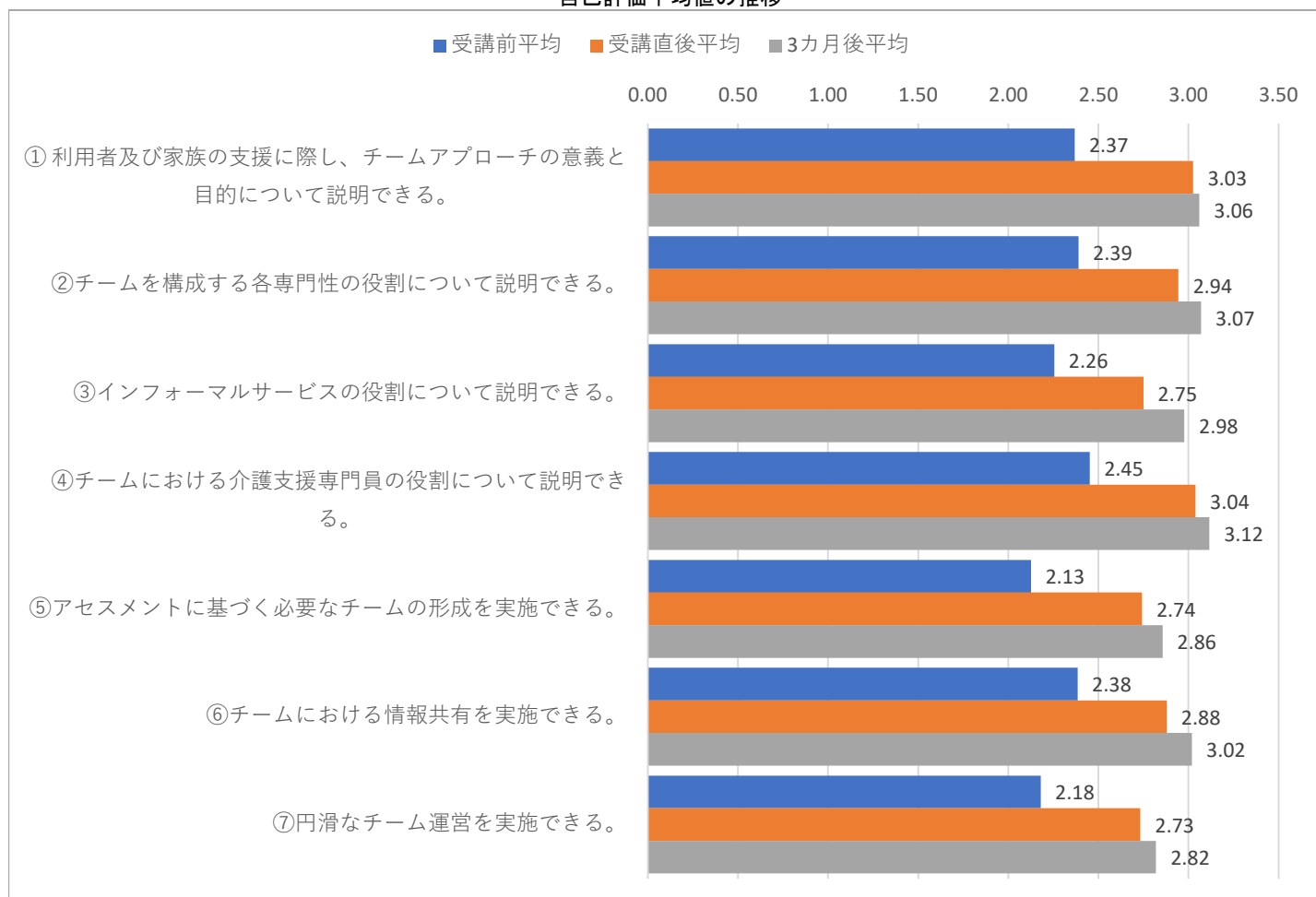
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



④介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）

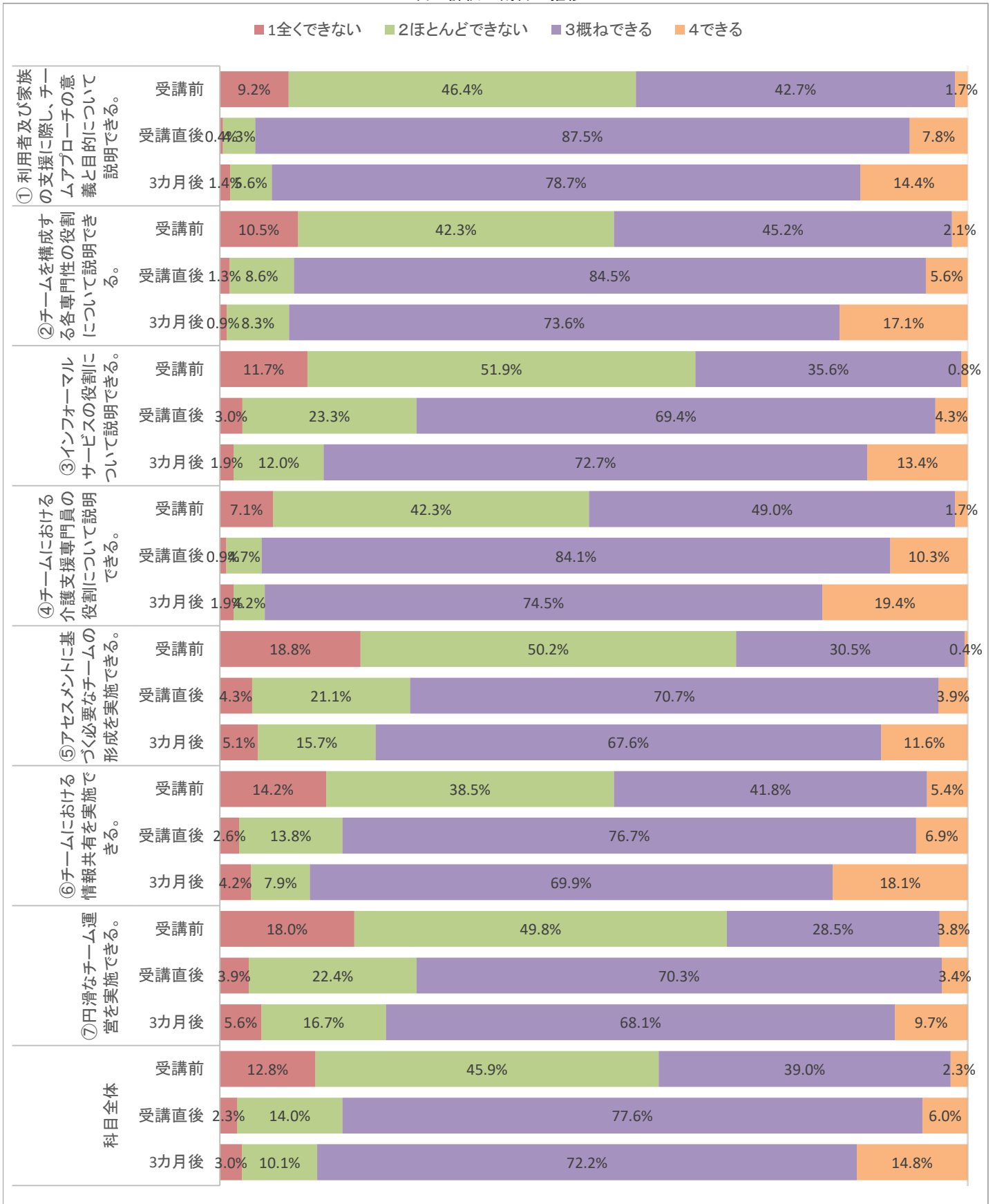
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。	2.37	3.03	3.06	0.69	0.66	0.03
② チームを構成する各専門性の役割について説明できる。	2.39	2.94	3.07	0.68	0.55	0.13
③ インフォーマルサービスの役割について説明できる。	2.26	2.75	2.98	0.72	0.49	0.23
④ チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.45	3.04	3.12	0.66	0.59	0.08
⑤ アセスメントに基づく必要なチームの形成を実施できる。	2.13	2.74	2.86	0.73	0.62	0.12
⑥ チームにおける情報共有を実施できる。	2.38	2.88	3.02	0.63	0.49	0.14
⑦ 円滑なチーム運営を実施できる。	2.18	2.73	2.82	0.64	0.55	0.09

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

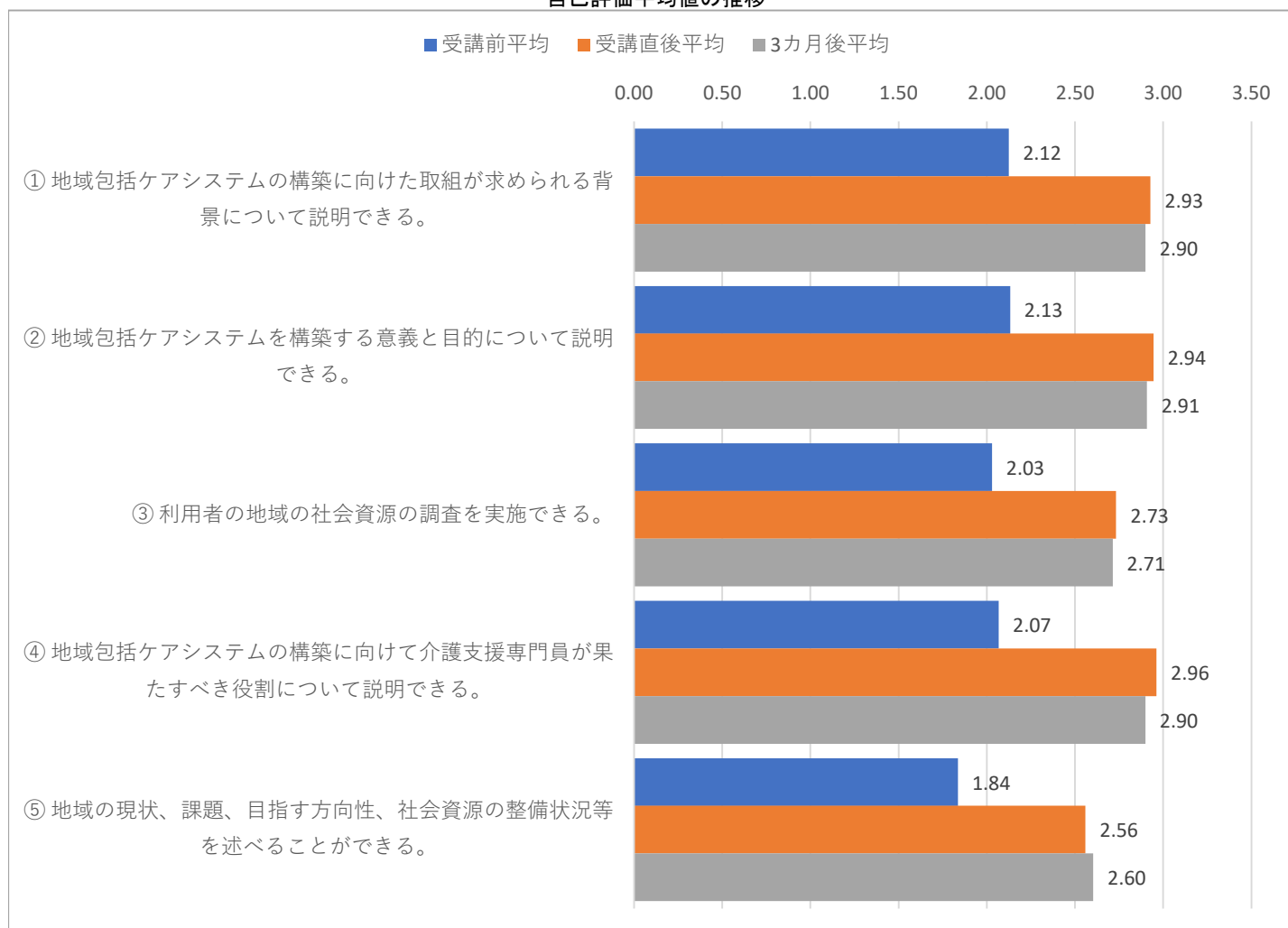
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑤地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源

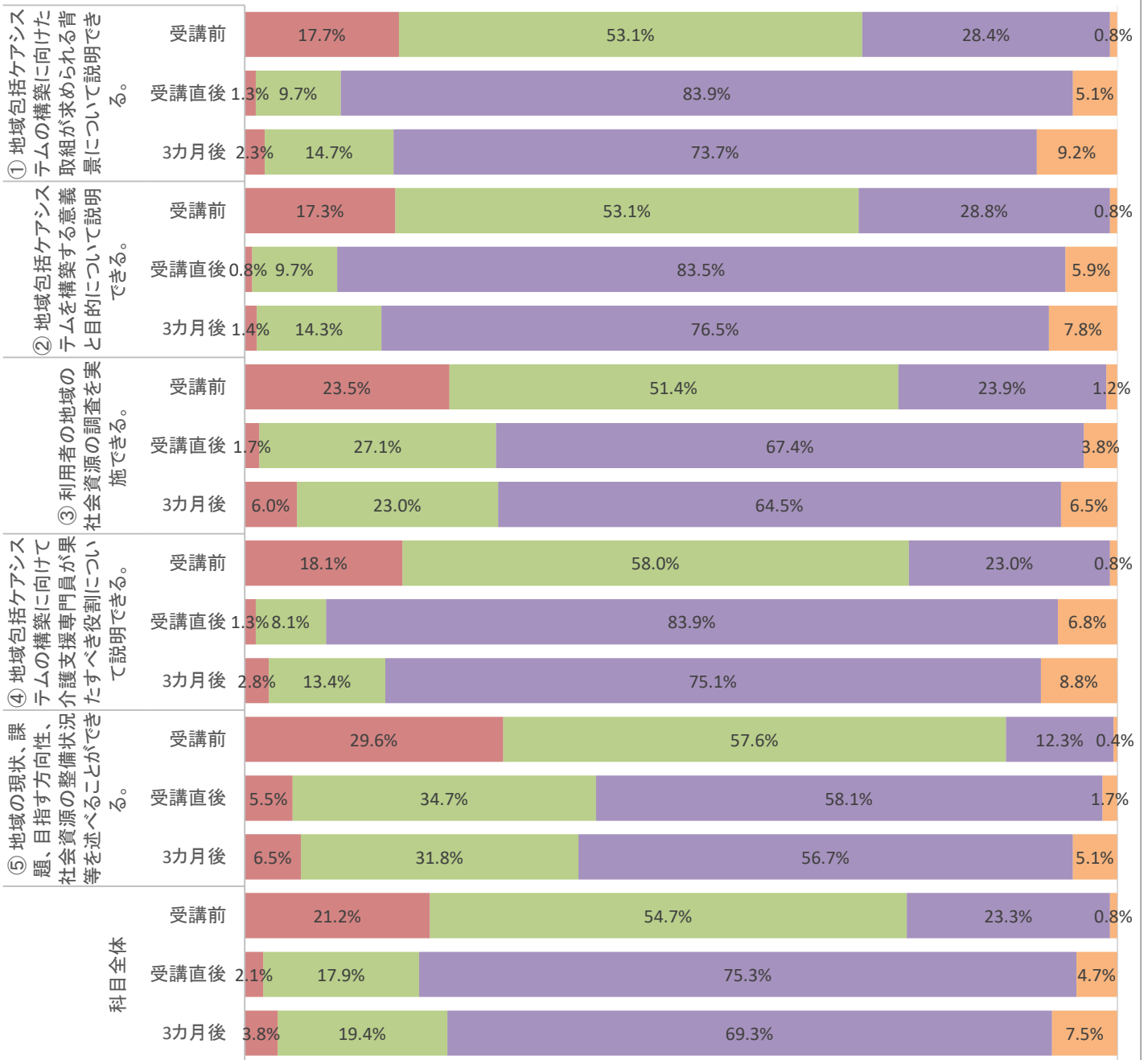
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が求められる背景について説明できる。	2.12	2.93	2.90	0.78	0.80	-0.03
② 地域包括ケアシステムを構築する意義と目的について説明できる。	2.13	2.94	2.91	0.78	0.81	-0.04
③ 利用者の地域の社会資源の調査を実施できる。	2.03	2.73	2.71	0.69	0.70	-0.02
④ 地域包括ケアシステムの構築に向けて介護支援専門員が果たすべき役割について説明できる。	2.07	2.96	2.90	0.83	0.90	-0.06
⑤ 地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を述べる事ができる。	1.84	2.56	2.60	0.77	0.72	0.04

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

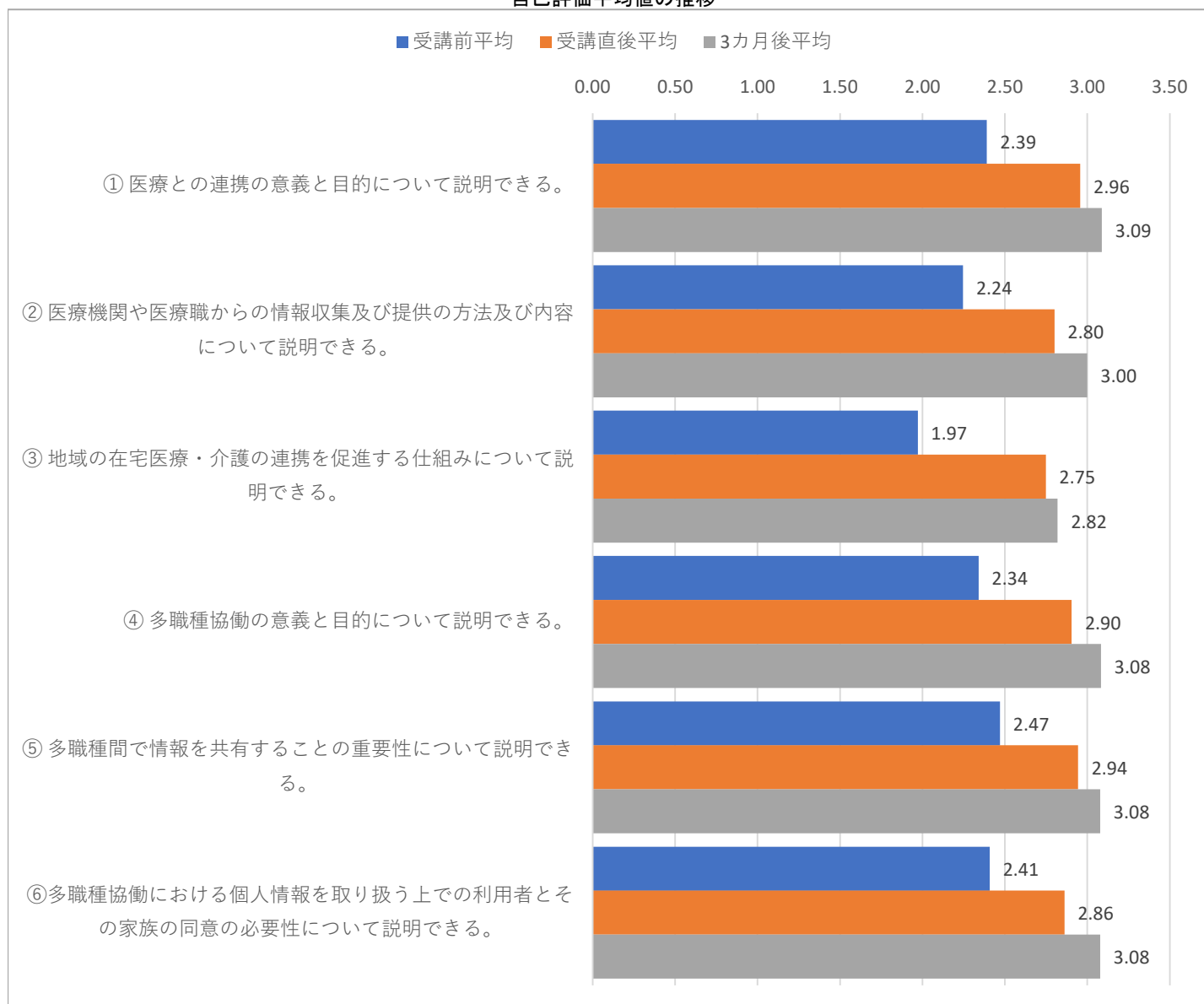
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑥生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義

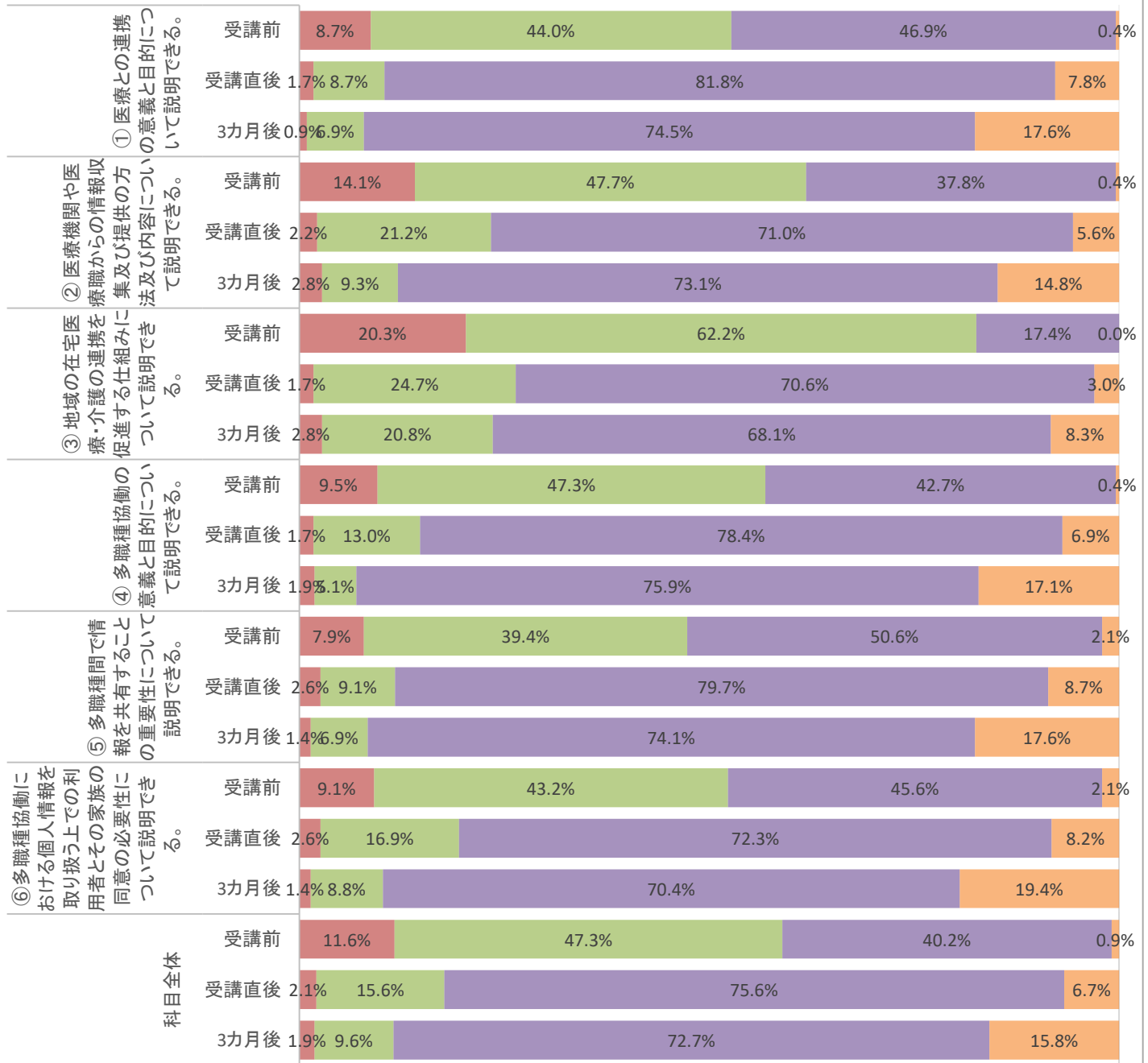
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 医療との連携の意義と目的について説明できる。	2.39	2.96	3.09	0.70	0.57	0.13
② 医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。	2.24	2.80	3.00	0.76	0.56	0.20
③ 地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。	1.97	2.75	2.82	0.85	0.78	0.07
④ 多職種協働の意義と目的について説明できる。	2.34	2.90	3.08	0.74	0.56	0.18
⑤ 多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。	2.47	2.94	3.08	0.61	0.47	0.13
⑥多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者とその家族の同意の必要性について説明できる。	2.41	2.86	3.08	0.67	0.45	0.22

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

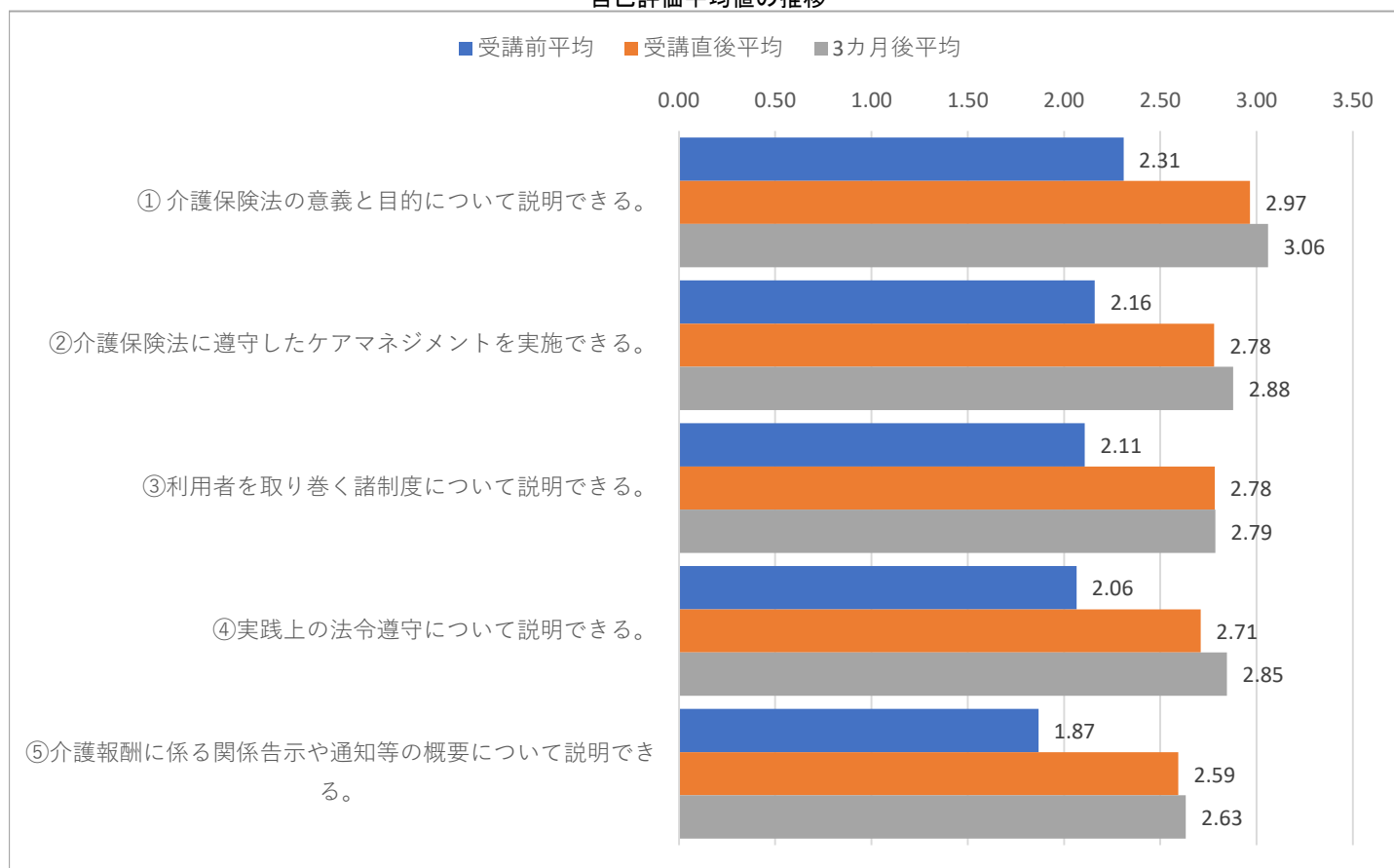
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



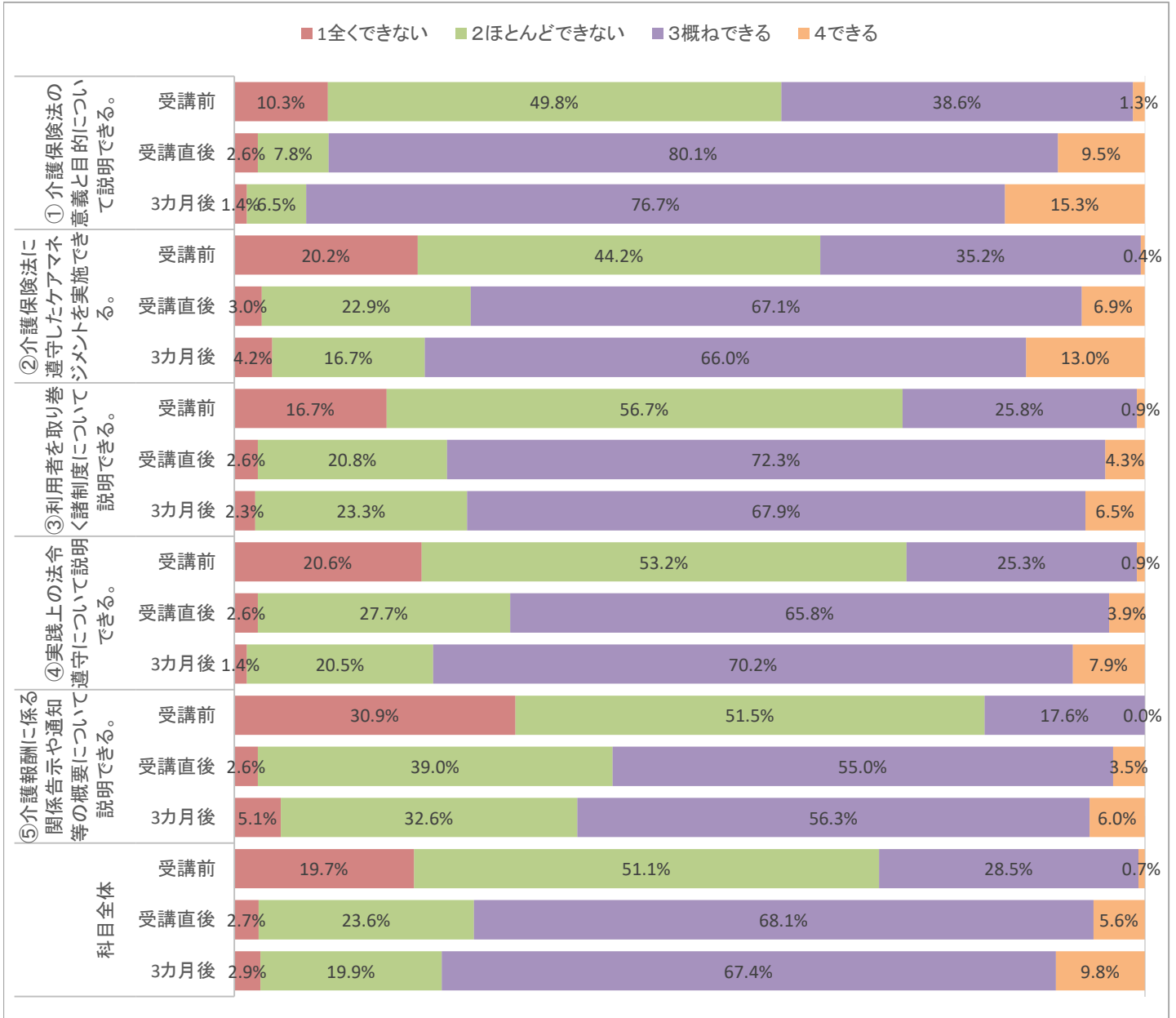
⑦ケアマネジメントに係る法令等の理解

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 介護保険法の意義と目的について説明できる。	2.31	2.97	3.06	0.75	0.66	0.10
② 介護保険法に遵守したケアマネジメントを実施できる。	2.16	2.78	2.88	0.72	0.62	0.10
③ 利用者を取り巻く諸制度について説明できる。	2.11	2.78	2.79	0.68	0.68	0.00
④ 実践上の法令遵守について説明できる。	2.06	2.71	2.85	0.78	0.65	0.14
⑤ 介護報酬に係る関係告示や通知等の概要について説明できる。	1.87	2.59	2.63	0.77	0.73	0.04

自己評価平均値の推移



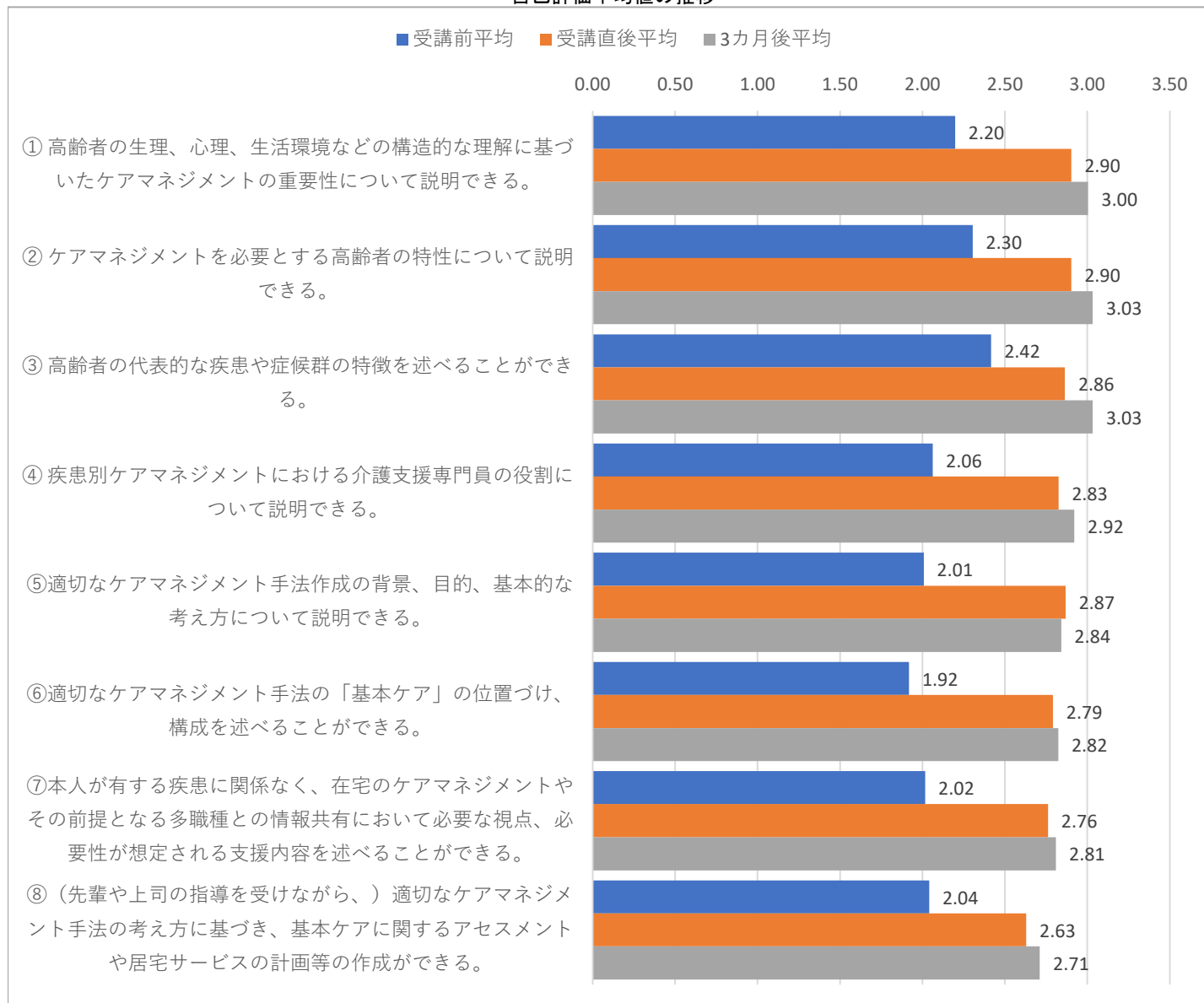
自己評価の割合の推移



⑧-1ケアマネジメントの展開：生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント

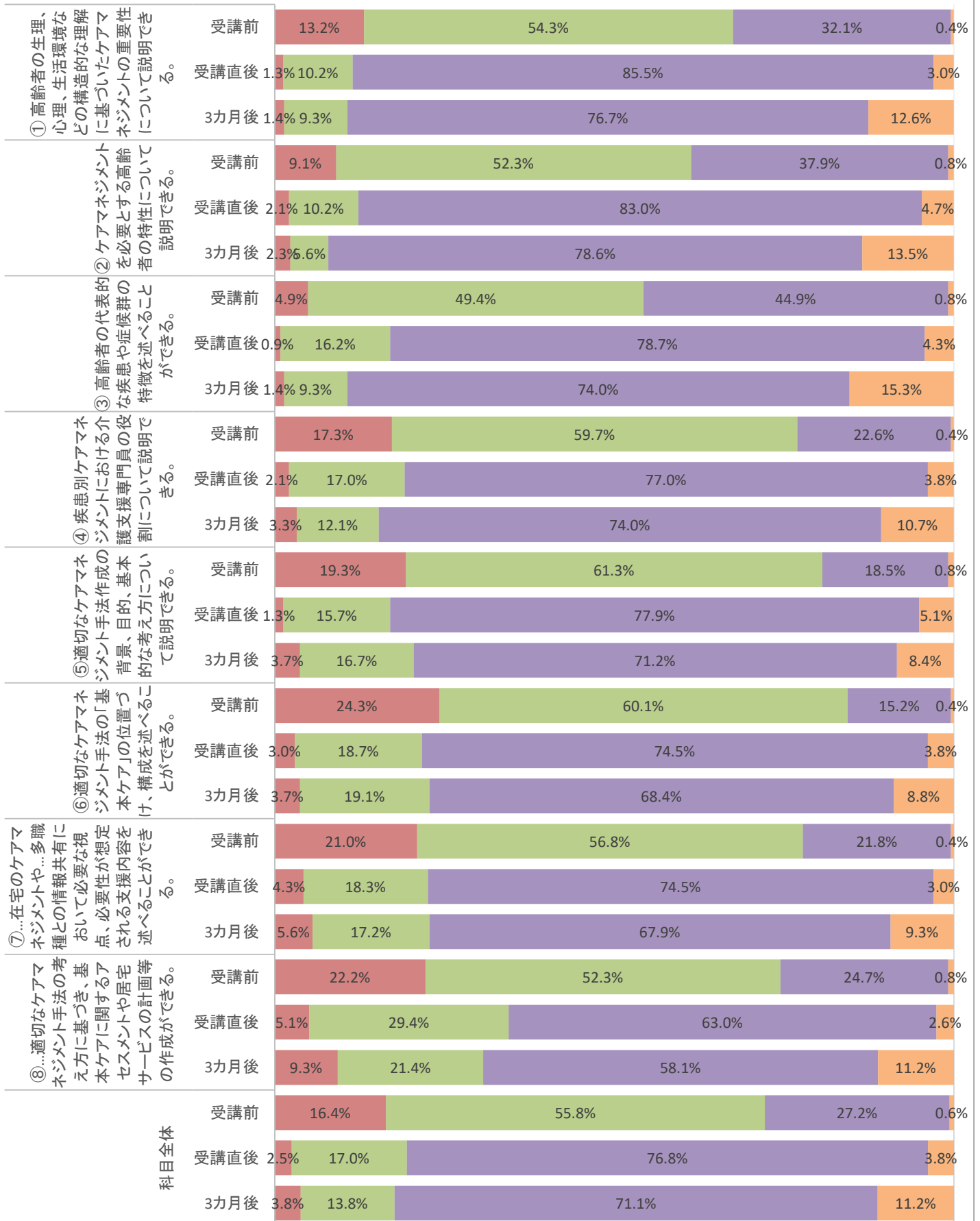
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいたケアマネジメントの重要性について説明できる。	2.20	2.90	3.00	0.81	0.70	0.10
② ケアマネジメントを必要とする高齢者の特性について説明できる。	2.30	2.90	3.03	0.73	0.60	0.13
③ 高齢者の代表的な疾患や症候群の特徴を述べるができる。	2.42	2.86	3.03	0.62	0.45	0.17
④ 疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.06	2.83	2.92	0.86	0.76	0.10
⑤適切なケアマネジメント手法作成の背景、目的、基本的な考え方について説明できる。	2.01	2.87	2.84	0.83	0.86	-0.03
⑥適切なケアマネジメント手法の「基本ケア」の位置づけ、構成を述べるができる。	1.92	2.79	2.82	0.91	0.87	0.03
⑦本人が有する疾患に関係なく、在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べるができる。	2.02	2.76	2.81	0.79	0.75	0.05
⑧（先輩や上司の指導を受けながら、）適切なケアマネジメント手法の考えに基づき、基本ケアに関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.04	2.63	2.71	0.67	0.59	0.08

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

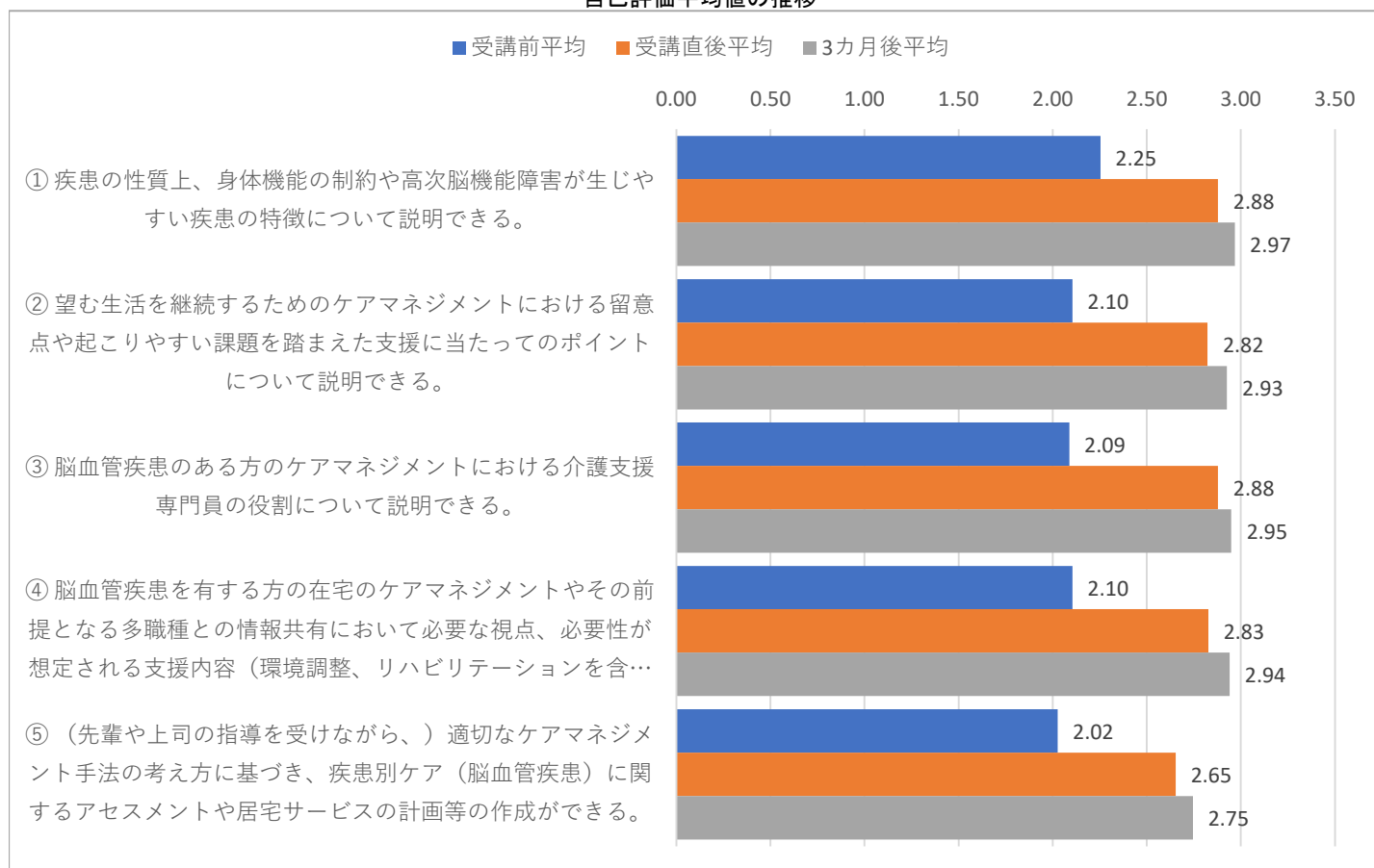
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-2ケアマネジメントの展開：脳血管疾患のある方のケアマネジメント

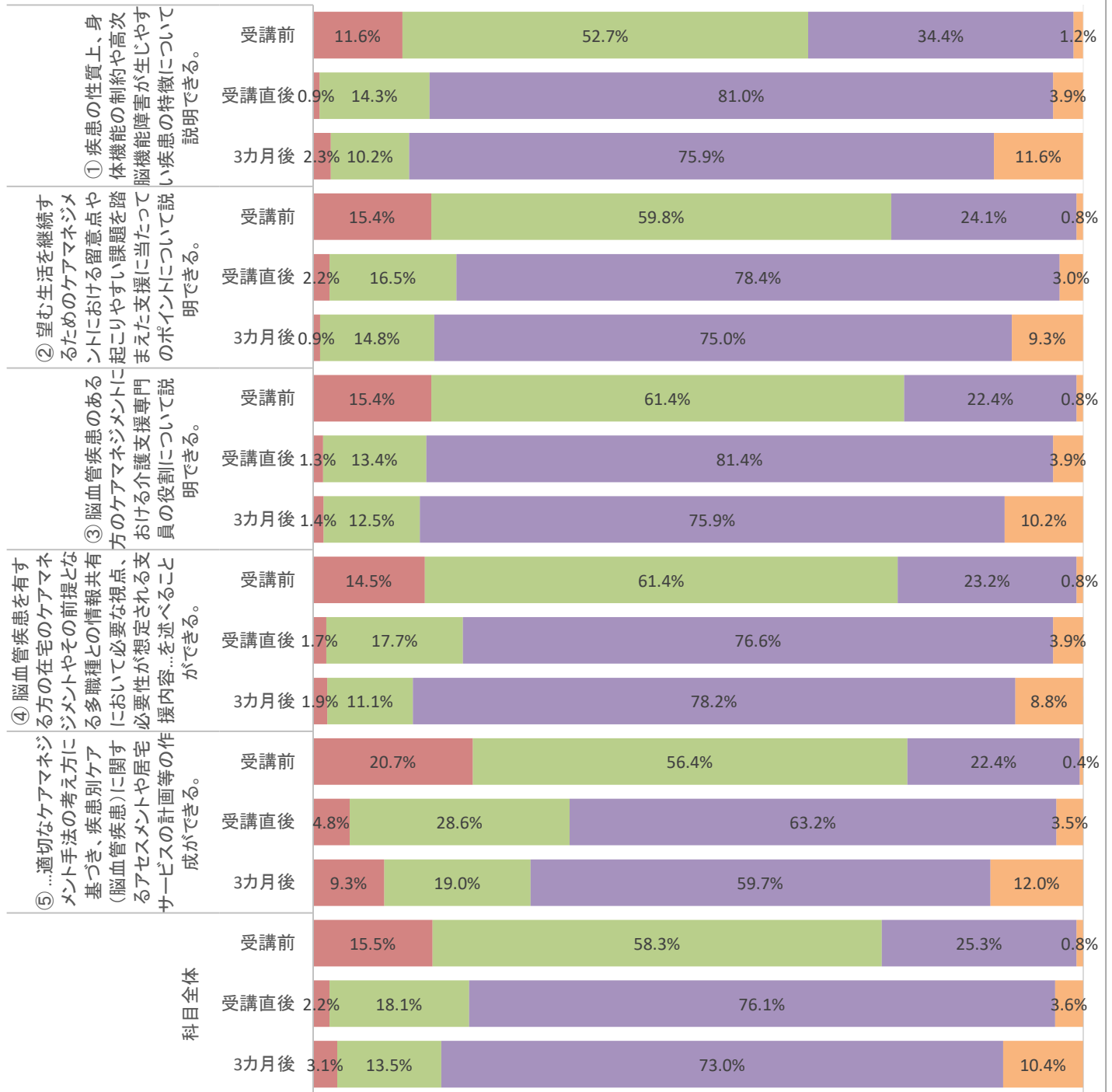
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 疾患の性質上、身体機能の制約や高次脳機能障害が生じやすい疾患の特徴について説明できる。	2.25	2.88	2.97	0.71	0.63	0.09
② 望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。	2.10	2.82	2.93	0.82	0.72	0.10
③ 脳血管疾患のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.09	2.88	2.95	0.86	0.79	0.07
④ 脳血管疾患を有する方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容（環境調整、リハビリテーションを含む）を述べるができる。	2.10	2.83	2.94	0.84	0.72	0.11
⑤ （先輩や上司の指導を受けながら、）適切なケアマネジメント手法の考えに基づき、疾患別ケア（脳血管疾患）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.02	2.65	2.75	0.72	0.63	0.09

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

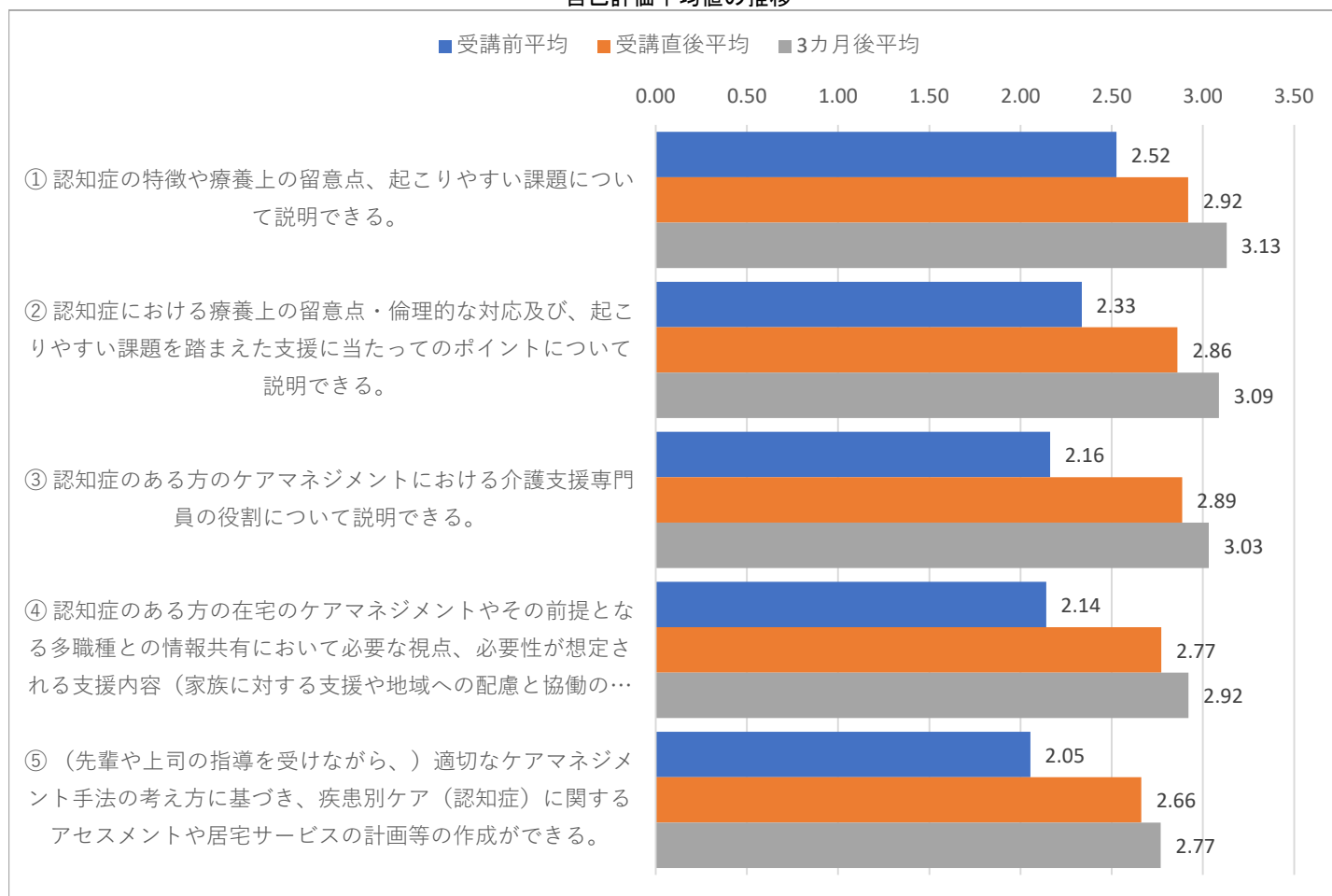
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-3ケアマネジメントの展開：認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

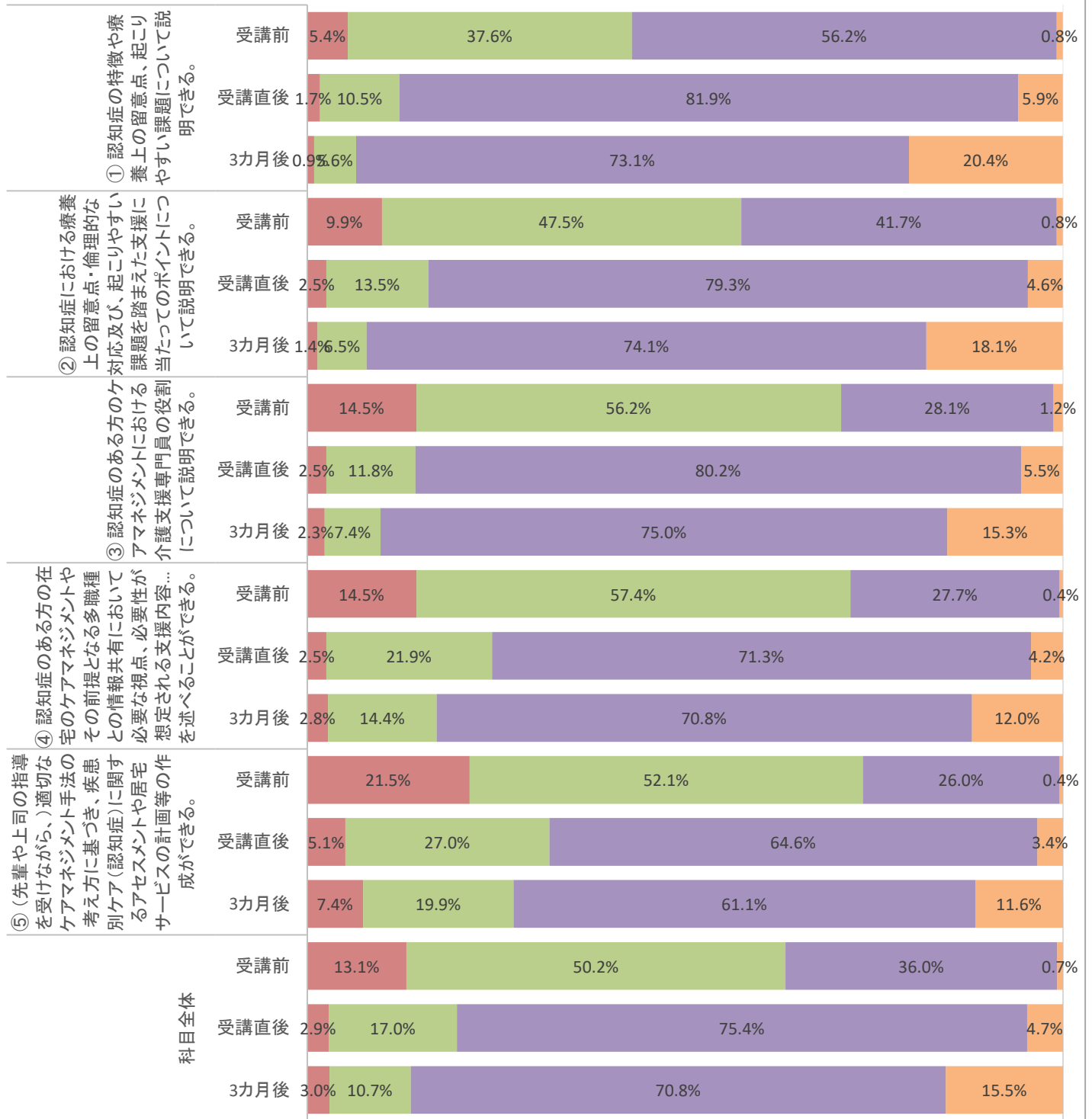
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題について説明できる。	2.52	2.92	3.13	0.60	0.40	0.21
② 認知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。	2.33	2.86	3.09	0.75	0.53	0.23
③ 認知症のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.16	2.89	3.03	0.87	0.72	0.15
④ 認知症のある方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容（家族に対する支援や地域への配慮と協働の視点を含む）を述べるができる。	2.14	2.77	2.92	0.78	0.63	0.15
⑤ （先輩や上司の指導を受けながら、）適切なケアマネジメント手法の考えに基づき、疾患別ケア（認知症）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.05	2.66	2.77	0.71	0.61	0.11

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

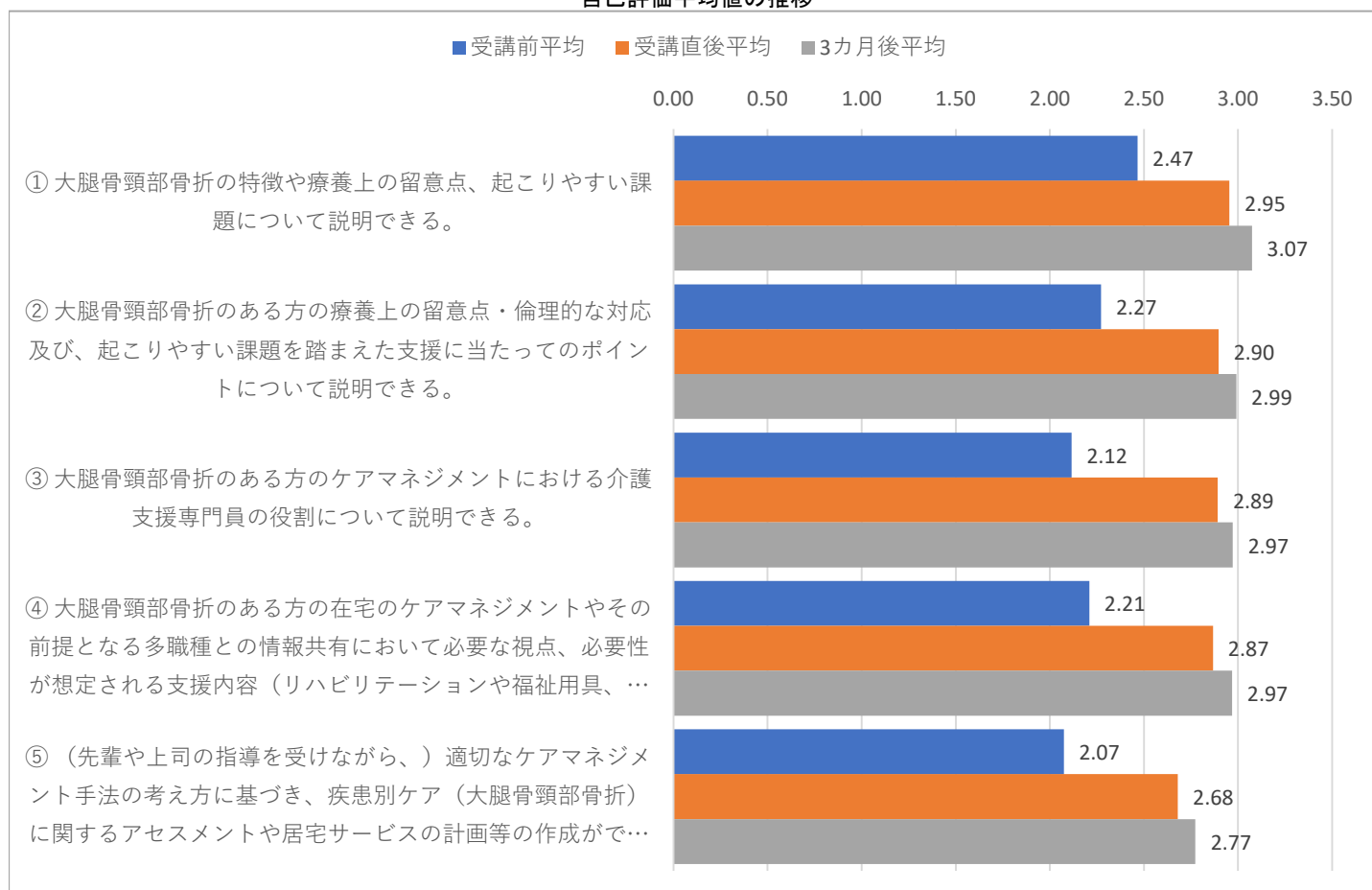
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-4ケアマネジメントの展開：大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント

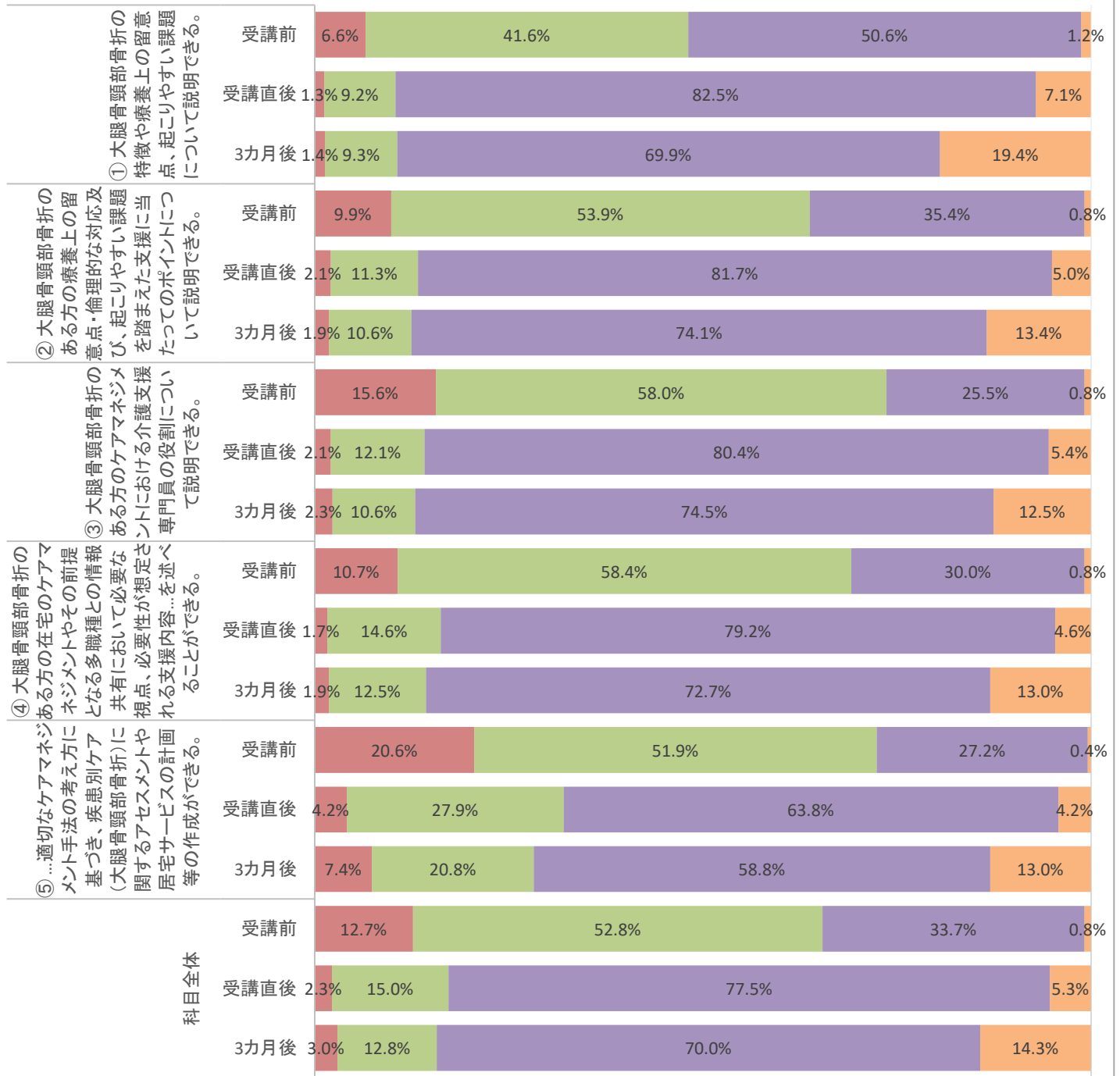
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 大腿骨頸部骨折の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題について説明できる。	2.47	2.95	3.07	0.61	0.49	0.12
② 大腿骨頸部骨折のある方の療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。	2.27	2.90	2.99	0.72	0.62	0.09
③ 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.12	2.89	2.97	0.86	0.78	0.08
④ 大腿骨頸部骨折のある方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容（リハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用を含む）を述べる事ができる。	2.21	2.87	2.97	0.76	0.66	0.10
⑤（先輩や上司の指導を受けながら、）適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、疾患別ケア（大腿骨頸部骨折）に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.07	2.68	2.77	0.70	0.61	0.09

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

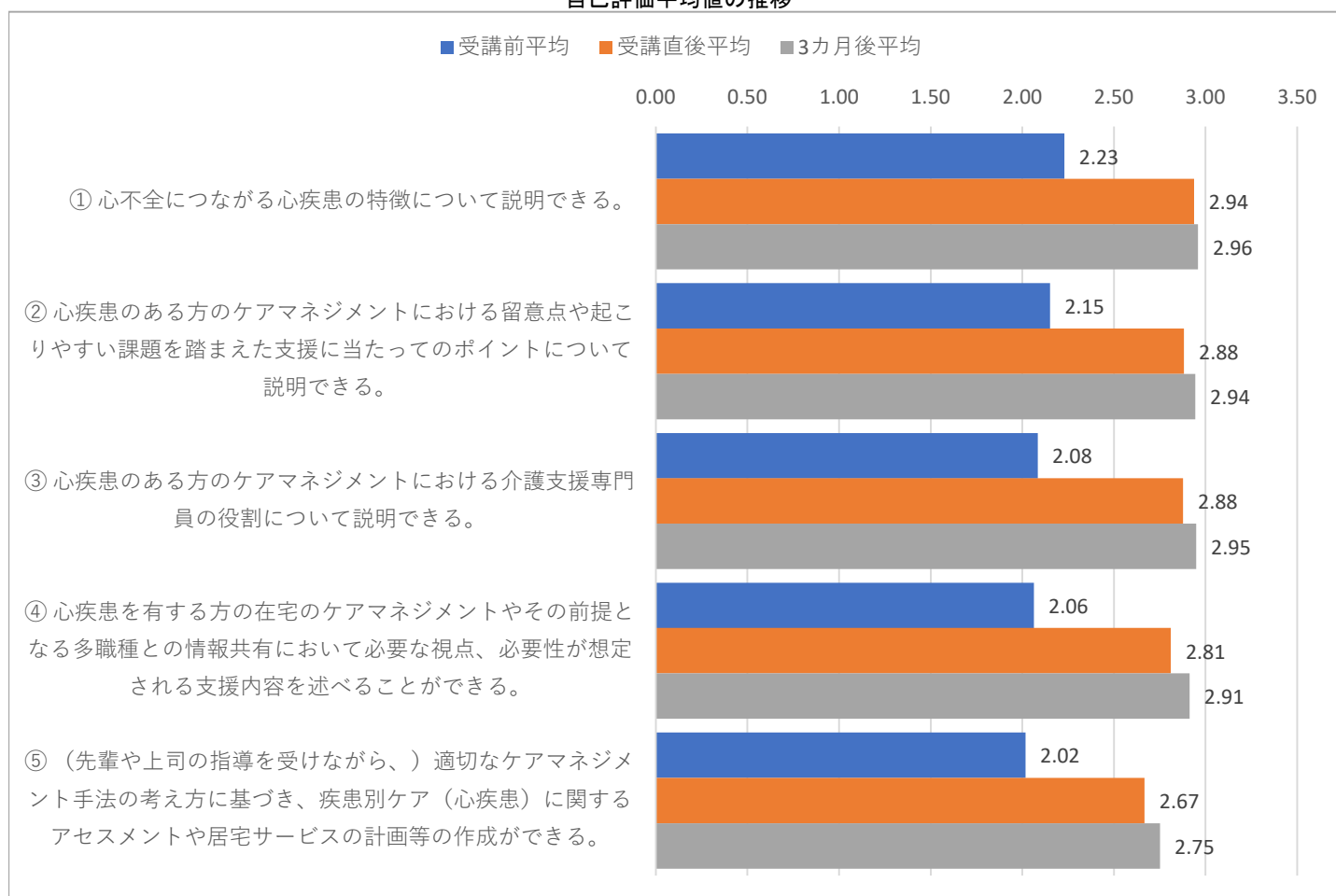
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-5ケアマネジメントの展開：心疾患のある方のケアマネジメント

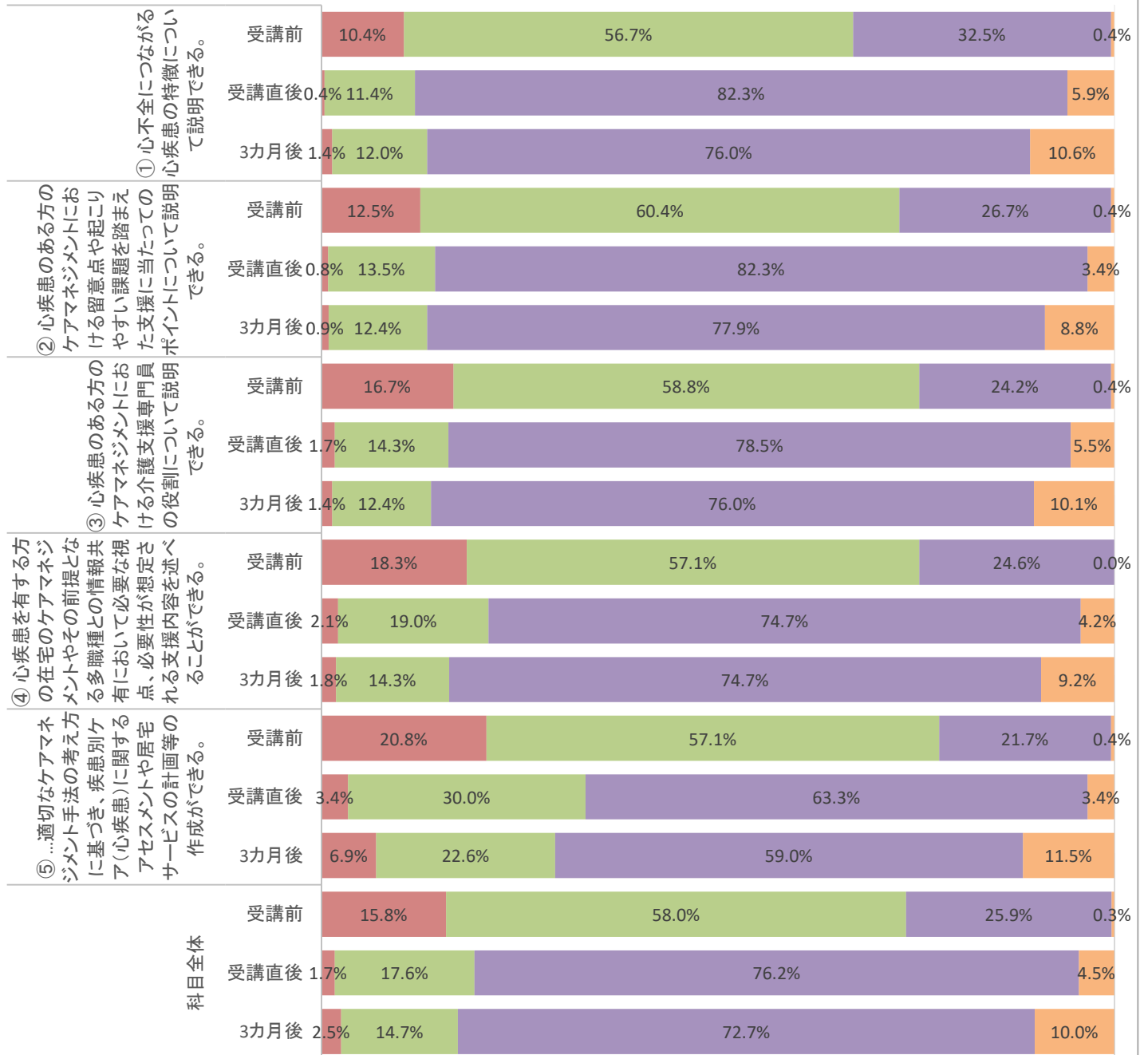
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 心不全につながる心疾患の特徴について説明できる。	2.23	2.94	2.96	0.73	0.71	0.02
② 心疾患のある方のケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。	2.15	2.88	2.94	0.79	0.73	0.06
③ 心疾患のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.08	2.88	2.95	0.87	0.79	0.07
④ 心疾患を有する方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べる事ができる。	2.06	2.81	2.91	0.85	0.75	0.10
⑤ (先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考えに基づき、疾患別ケア(心疾患)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.02	2.67	2.75	0.73	0.65	0.08

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

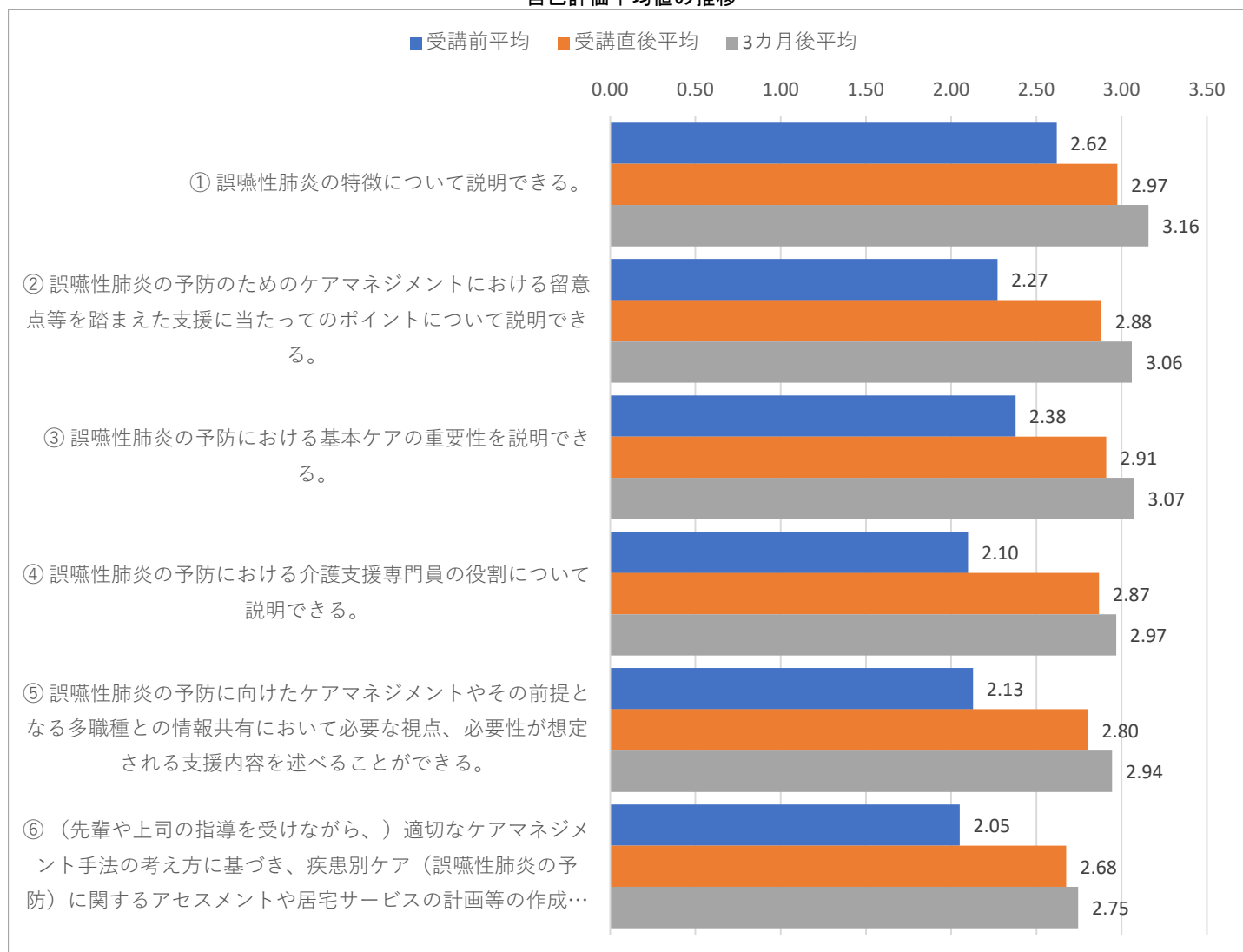
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-6ケアマネジメントの展開：誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

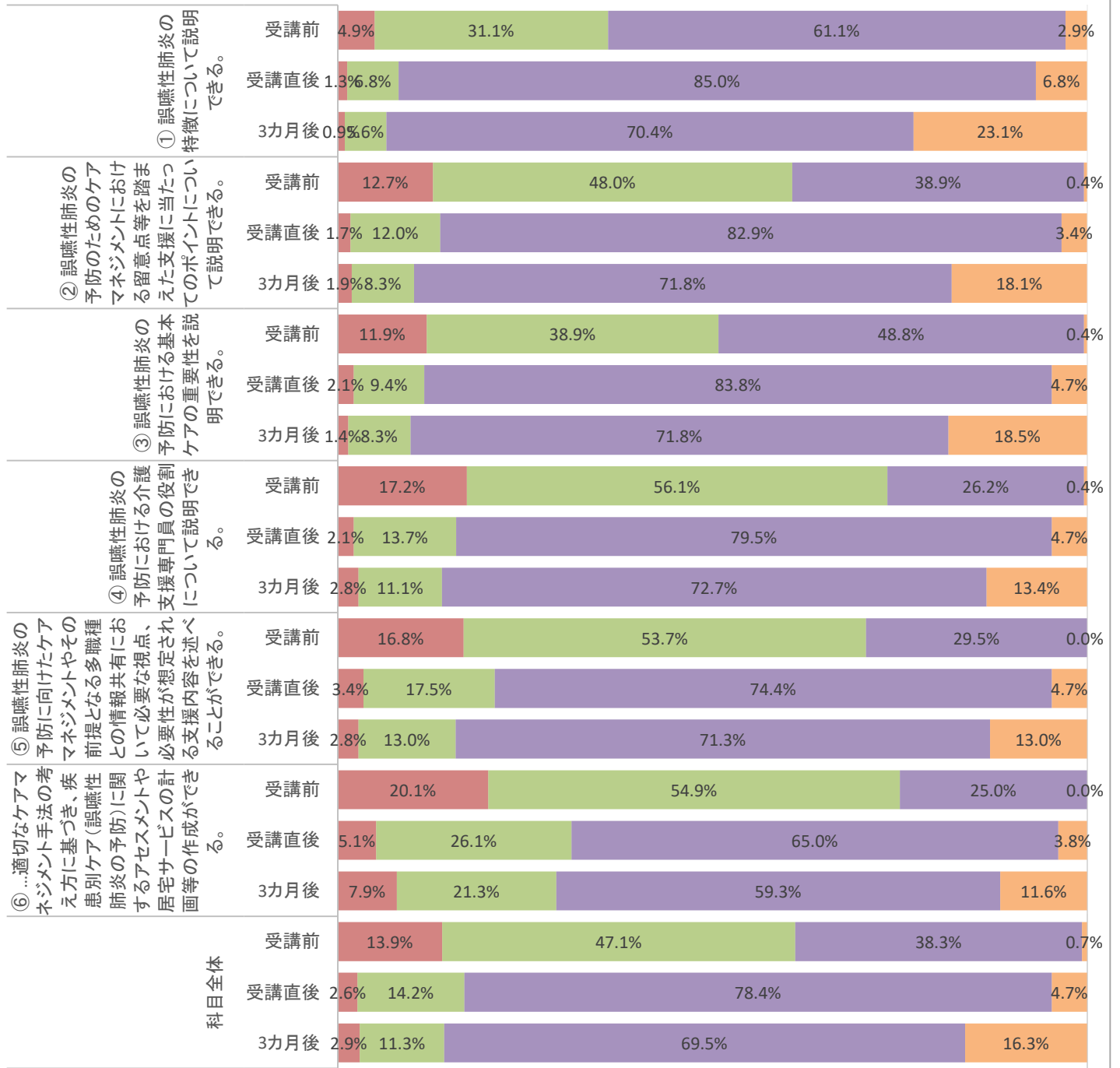
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 誤嚥性肺炎の特徴について説明できる。	2.62	2.97	3.16	0.54	0.36	0.18
② 誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点等を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。	2.27	2.88	3.06	0.79	0.61	0.18
③ 誤嚥性肺炎の予防における基本ケアの重要性を説明できる。	2.38	2.91	3.07	0.70	0.53	0.16
④ 誤嚥性肺炎の予防における介護支援専門員の役割について説明できる。	2.10	2.87	2.97	0.87	0.77	0.10
⑤ 誤嚥性肺炎の予防に向けたケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べることができる。	2.13	2.80	2.94	0.82	0.68	0.14
⑥ (先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考えに基づき、疾患別ケア(誤嚥性肺炎の予防)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。	2.05	2.68	2.75	0.70	0.63	0.07

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

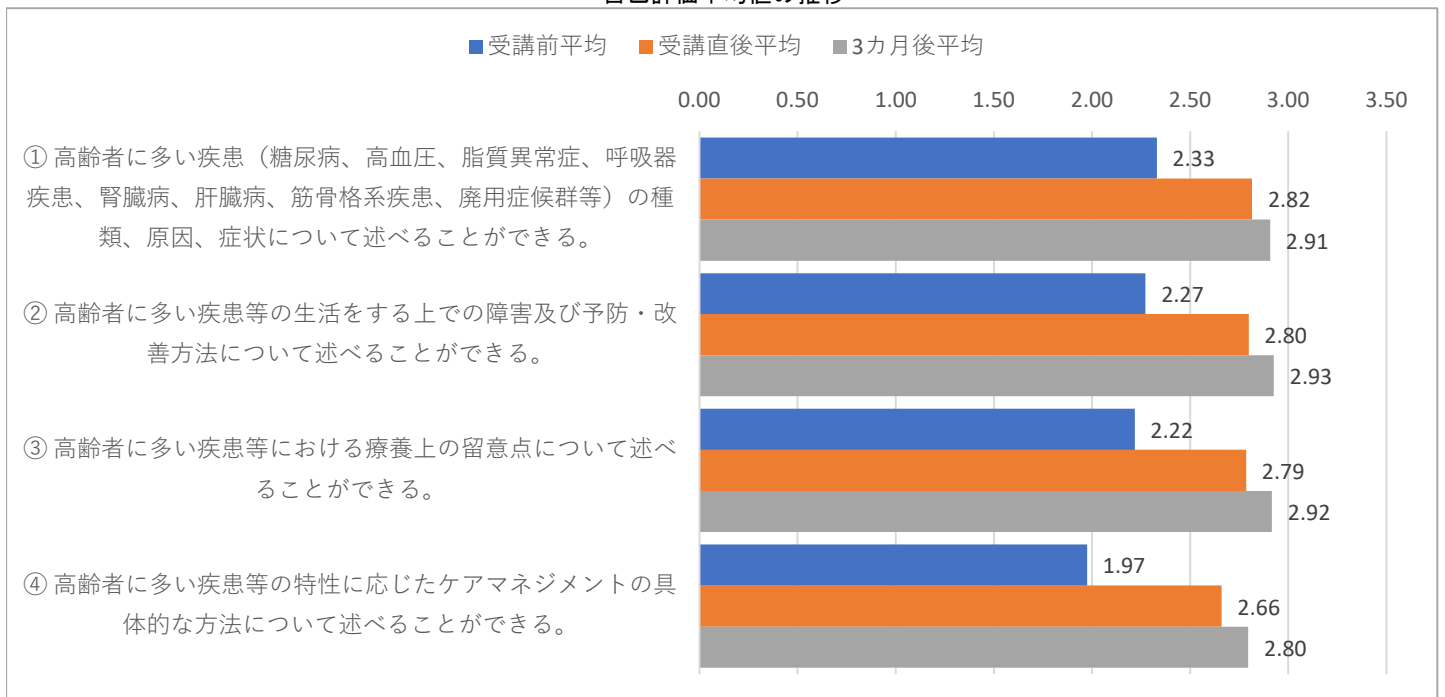
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



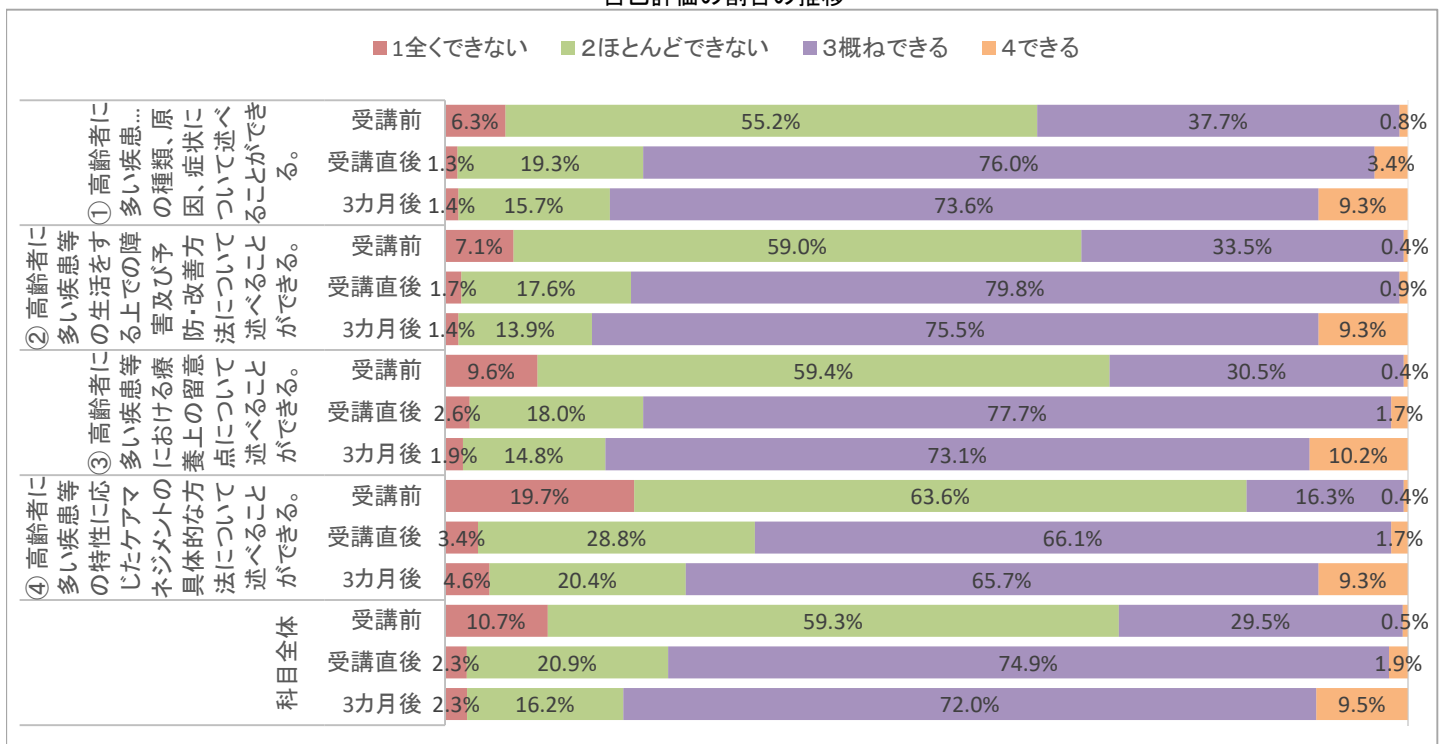
⑧-7ケアマネジメントの展開：高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 高齢者に多い疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の種類、原因、症状について述べることができる。	2.33	2.82	2.91	0.58	0.48	0.09
② 高齢者に多い疾患等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について述べるができる。	2.27	2.80	2.93	0.65	0.53	0.13
③ 高齢者に多い疾患等における療養上の留意点について述べるができる。	2.22	2.79	2.92	0.70	0.57	0.13
④ 高齢者に多い疾患等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について述べるができる。	1.97	2.66	2.80	0.82	0.69	0.14

自己評価平均値の推移



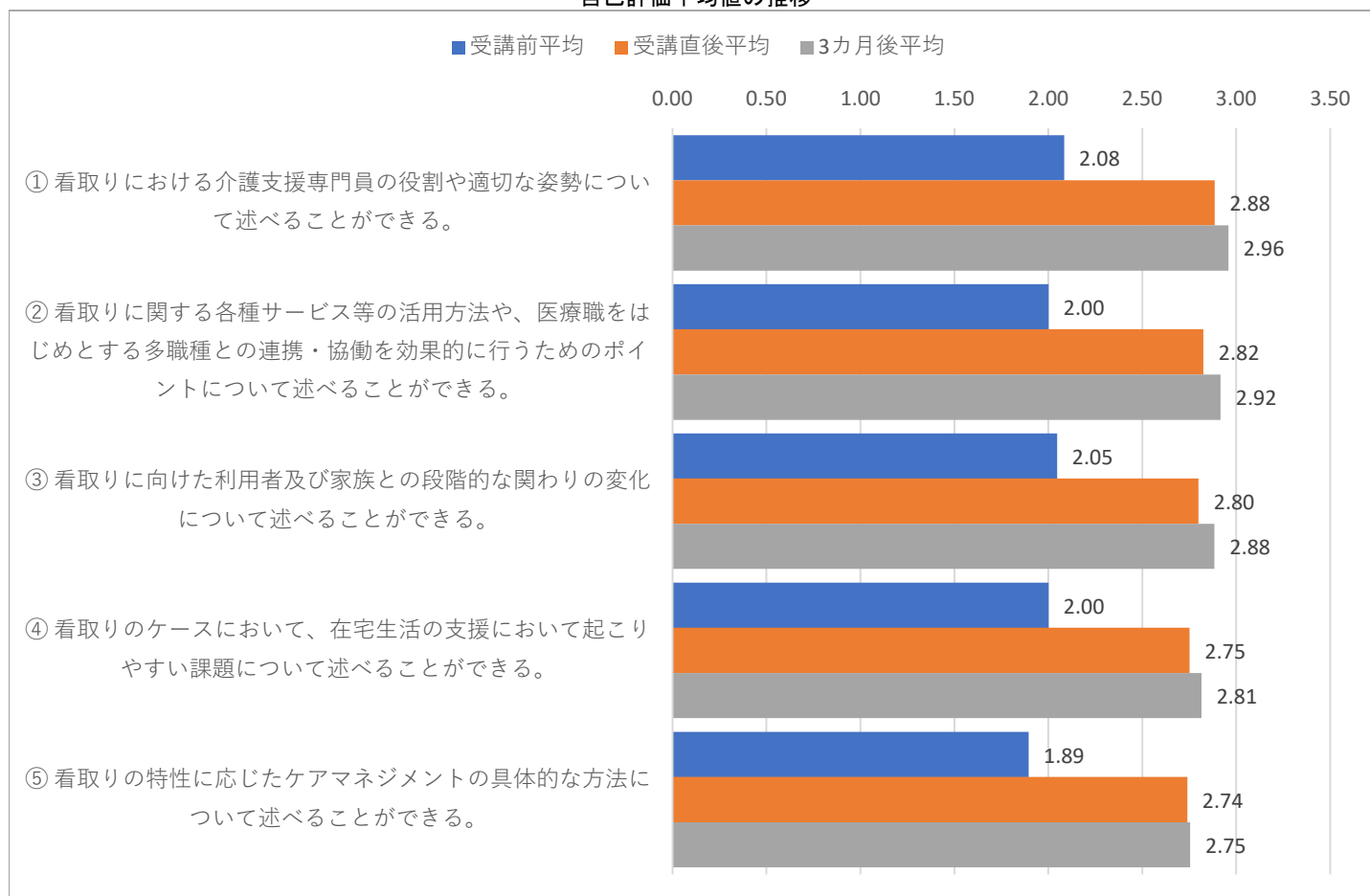
自己評価の割合の推移



⑧-8ケアマネジメントの展開：看取りに関する事例

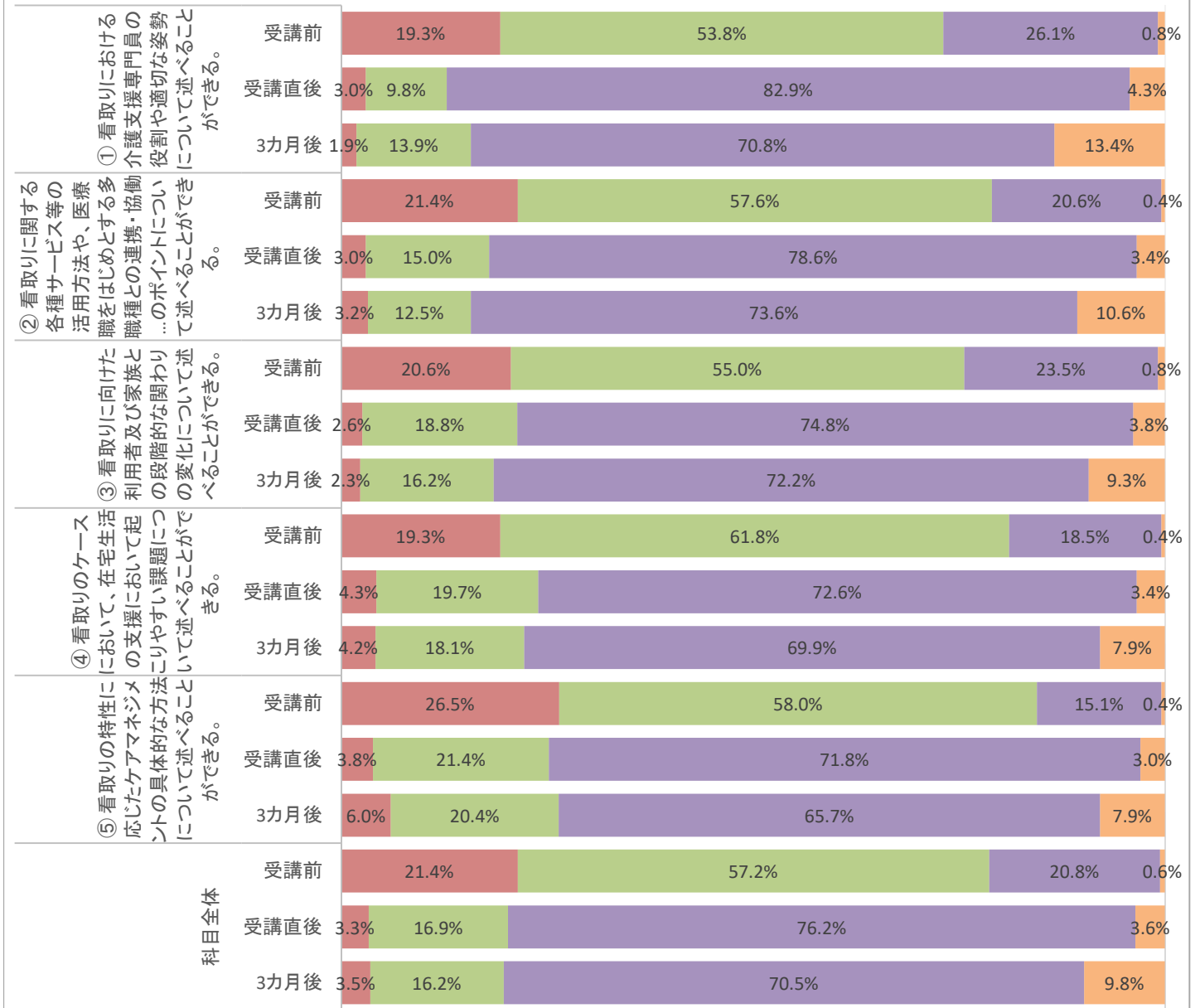
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
① 看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について述べる ことができる。	2.08	2.88	2.96	0.87	0.80	0.07
② 看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多 職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて述べる ことができる。	2.00	2.82	2.92	0.92	0.82	0.09
③ 看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について述 べる ことができる。	2.05	2.80	2.88	0.84	0.75	0.09
④ 看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題に ついて述べる ことができる。	2.00	2.75	2.81	0.81	0.75	0.06
⑤ 看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について述べる ことができる。	1.89	2.74	2.75	0.86	0.84	0.02

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

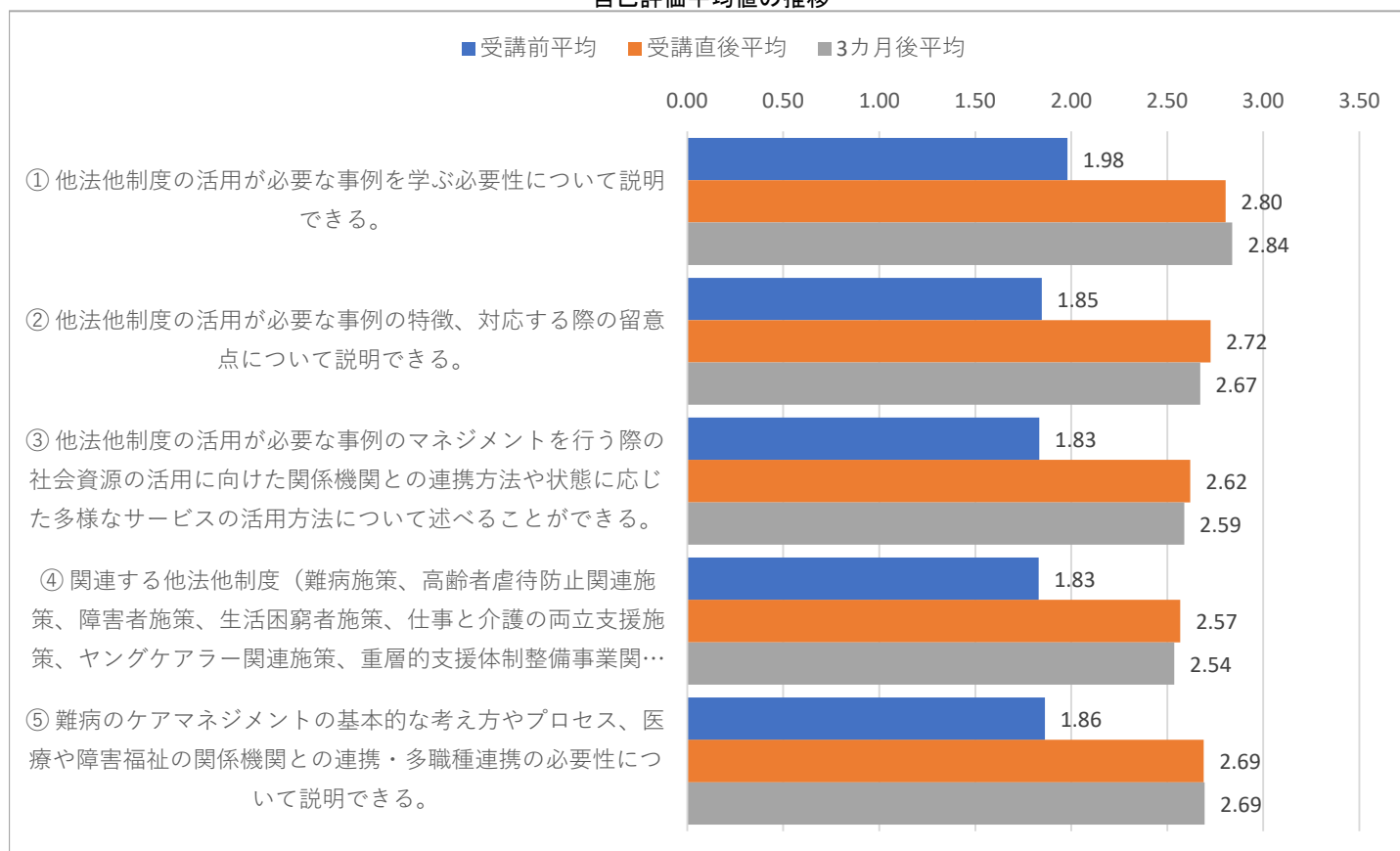
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑧-9ケアマネジメントの展開：地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

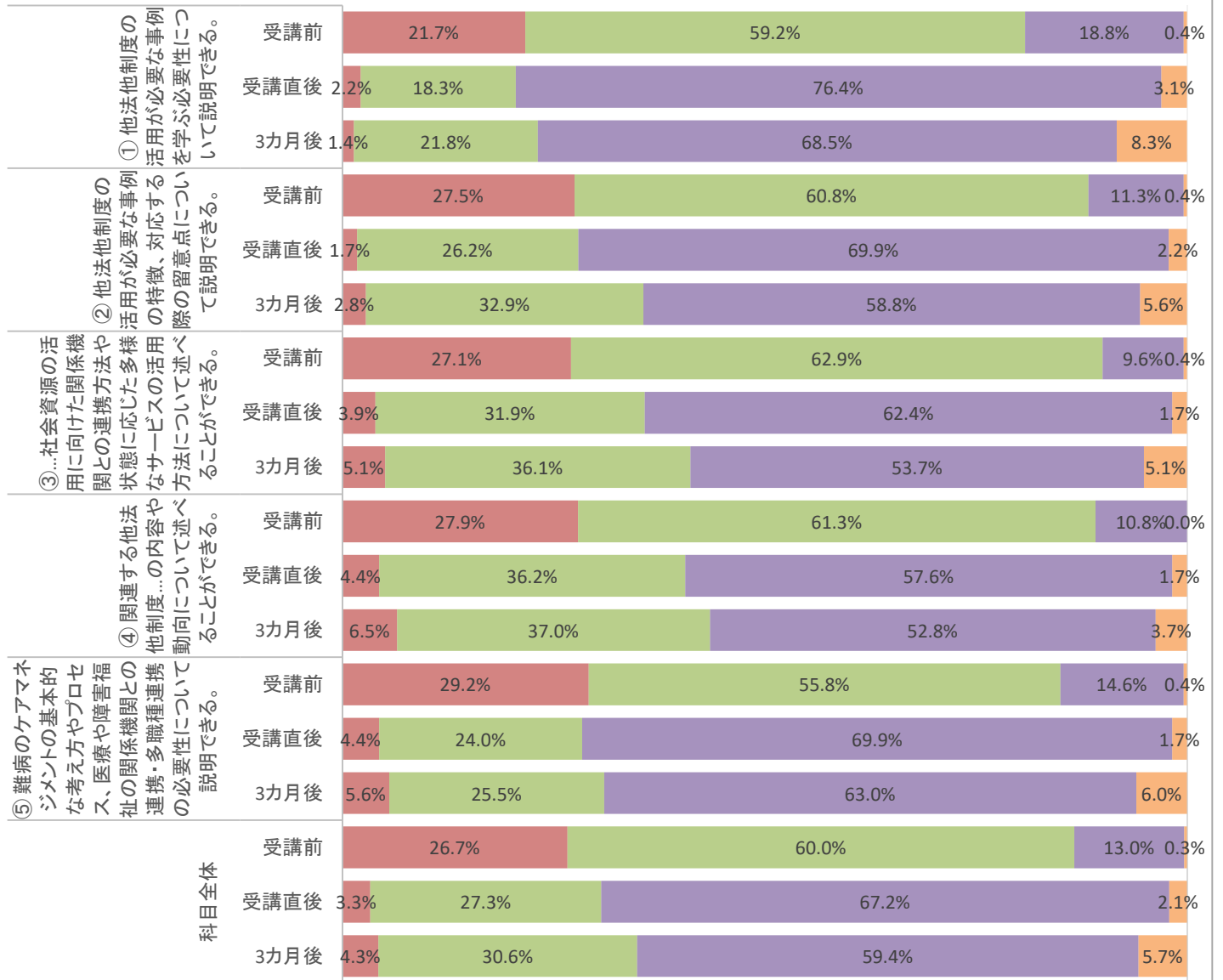
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 他法他制度の活用が必要な事例を学ぶ必要性について説明できる。	1.98	2.80	2.84	0.86	0.82	0.03
② 他法他制度の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点について説明できる。	1.85	2.72	2.67	0.83	0.88	-0.05
③ 他法他制度の活用が必要な事例のマネジメントを行う際の社会資源の活用に向けた関係機関との連携方法や状態に応じた多様なサービスの活用方法について述べるができる。	1.83	2.62	2.59	0.75	0.79	-0.03
④ 関連する他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の内容や動向について述べるができる。	1.83	2.57	2.54	0.71	0.74	-0.03
⑤ 難病のケアマネジメントの基本的な考え方やプロセス、医療や障害福祉の関係機関との連携・多職種連携の必要性について説明できる。	1.86	2.69	2.69	0.83	0.83	0.00

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

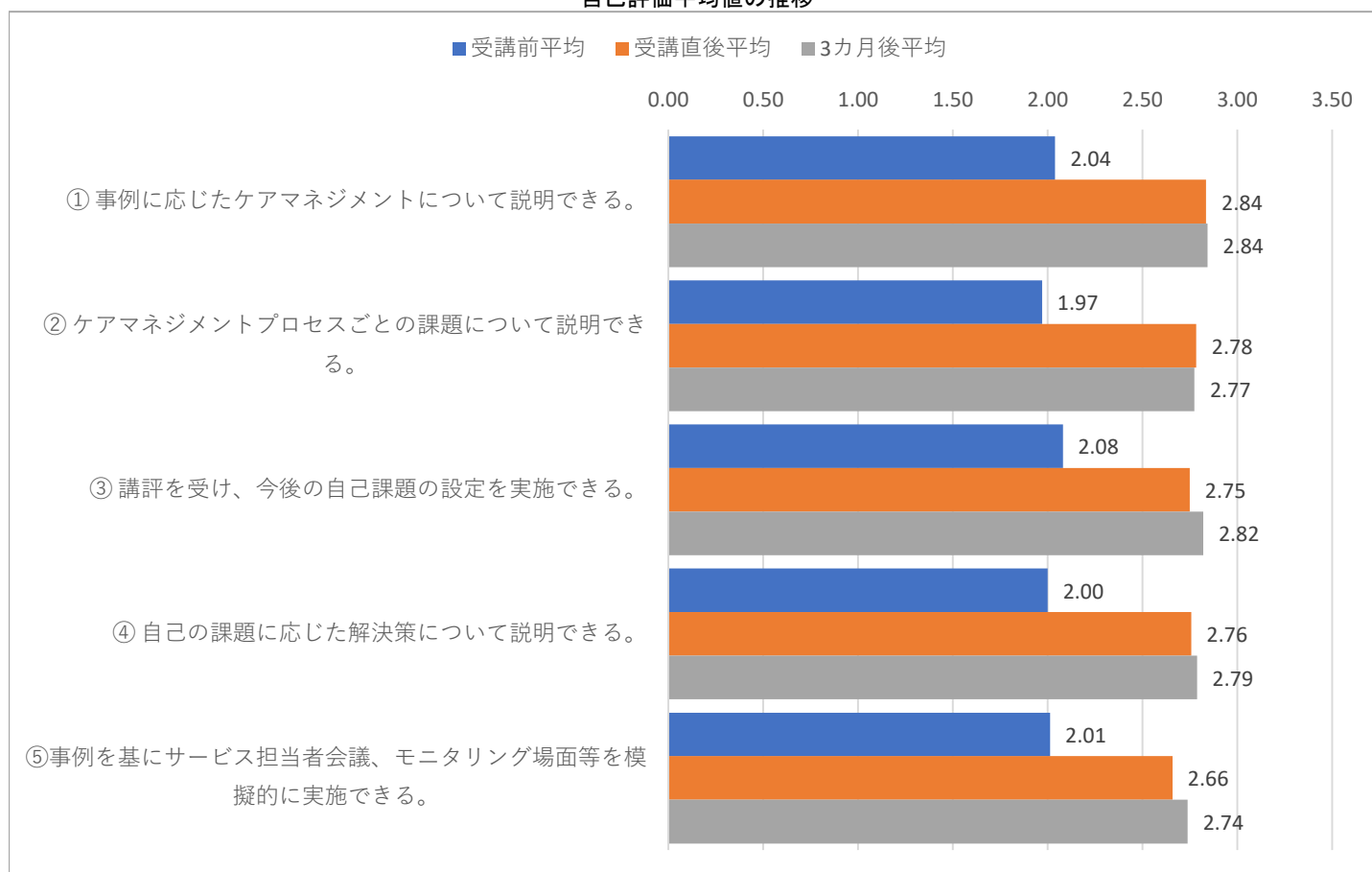
■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑨アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。	2.04	2.84	2.84	0.81	0.80	0.01
② ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。	1.97	2.78	2.77	0.80	0.81	-0.01
③ 講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。	2.08	2.75	2.82	0.74	0.67	0.07
④ 自己の課題に応じた解決策について説明できる。	2.00	2.76	2.79	0.79	0.76	0.03
⑤事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。	2.01	2.66	2.74	0.72	0.65	0.08

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

■ 1全くできない ■ 2ほとんどできない ■ 3概ねできる ■ 4できる

